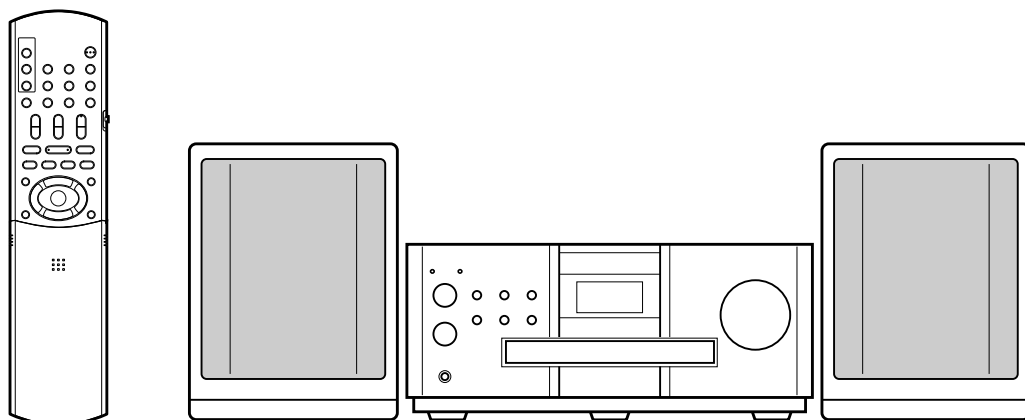
取扱説明書

コンパクトコンポーネントシステム

型名 EX-AK1
型名 EX-BK1

WOOD CONE

Hybrid Feedback Digital Amplifier

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネット（EX-AK1のみ）と振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ､正しくお使いください｡
特に3～5ページの｢安全上のご注意｣は､必ずお読みいただき､安全にお使いください｡
お読みになったあとは､保証書と一緒に大切に保管し､必要なときにお読みください｡

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

はじめに / 接続する / すぐ使ってみる / 使いこなす / ラジオを聞く / 便利な機能 / ご参考に

LVT1763-001C

もくじ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● **絵表示の説明**

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

●煙が出ていたりへんなにおいがするとき
●内部に水や異物が入ってしまったとき
●落としたり、破損したとき
●電源コードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)
すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
●電源コードを加工しない
●電源コードを無理に曲げない
●電源コードをねじらない
●電源コードを引っ張らない
●電源コードを熱器具に近づけない
●電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠ 警告

交流 100V(ボルト) 以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

●あお向けや横倒し、逆さまにしない
●本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
●テーブルクロスを掛けない
●本や雑誌などをのせない
●じゅうたんや布団の上に置かない
●設置するときは、壁などから 10cm 以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
●湿気やほこりの多い所
●熱器具の近くなど高温になる所
●窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

本機は電源プラグの抜き差しで、主電源が入ったり切れたりします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

3 年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

●指定以外の電池を使用しない
●電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
●電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
●電池を加熱しない
●分解しない
●火や水の中に入れない
●新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
●種類の違う電池と混ぜて使用しない
●乾電池は充電しない
●長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。

万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

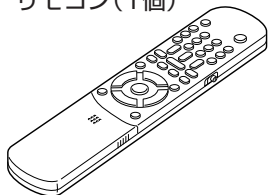
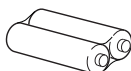
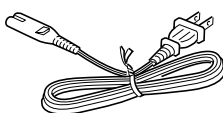
ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

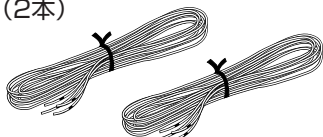
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

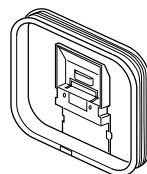
欧州連合のリサイクルマークです。

付属品

次の付属品が同梱されています。お確かめください。

リモコン（1個）

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

ビデオコード（1本）

スピーカーコード 3m
（2本）

FMアンテナ（1本）

AMアンテナ（1個）

ポリシングクロス
（EX-BK1のみ）
（スピーカーキャビネット清掃用）

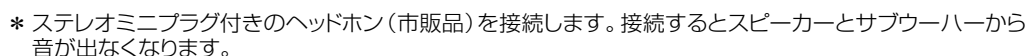
商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS社の登録商標です。DTS 2.0＋Digital OutはDTS社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。DVD ビデオのロゴは商標です。
- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- どの種類のディスクで操作できるのかを、以下のマークでお知らせしています。

MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

- 本書内のイラストやテレビ画面は、説明のため簡略化や誇張をしているものがあります。
- "VCD"は"ビデオCD"の略です。
- "SVCD"は"スーパービデオCD"の略です。

各部の説明ページ 数字は説明しているページ番号です。

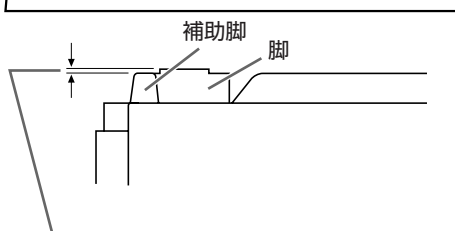
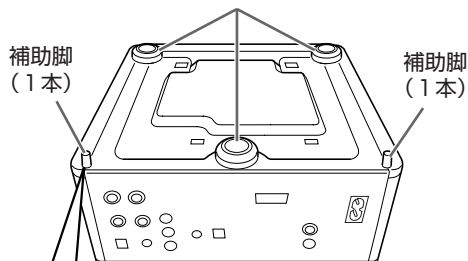
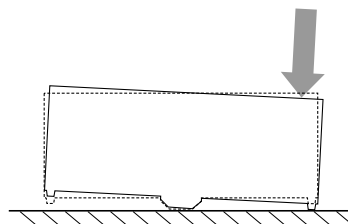
本体前面

＊ ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーとサブウーハーから音が出なくなります。

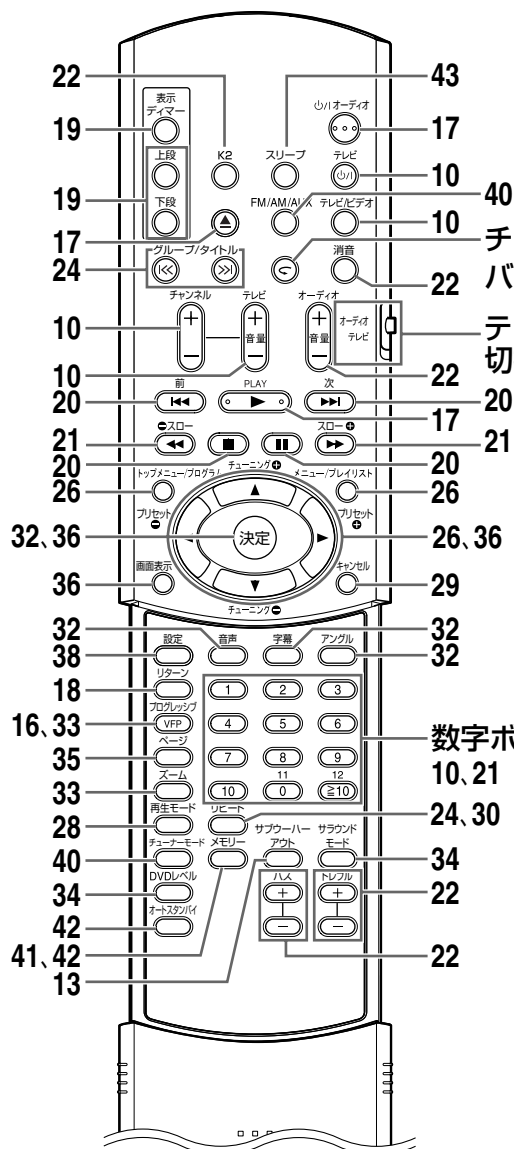
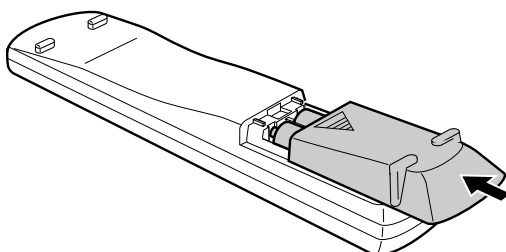
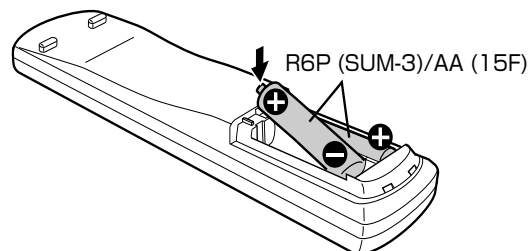
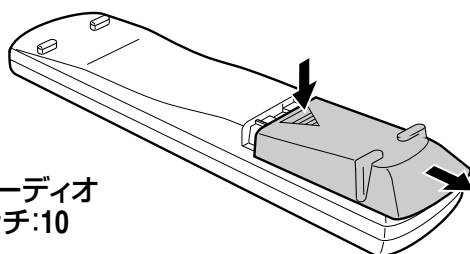
表示窓

本体背面

脚と補助脚の役割

本体を 3 本の脚で支えることにより、安定した設置と音質の向上を図っています。

また、上から押されても本体が大きくぐらつかないように、2 本の補助脚がついています。補助脚は脚よりも少し短いので、通常は接地していません。

リモコンについて 数字は説明しているページ番号です。

リモコンに電池を入れる

リモコン内部の極性（⊕/⊖）表示に合わせて正しく入れてください。

操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

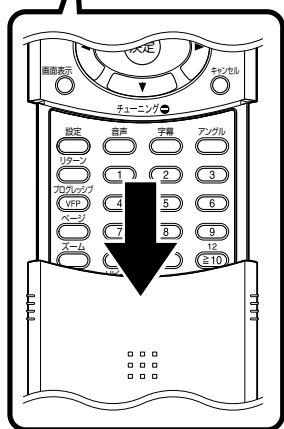
ご注意

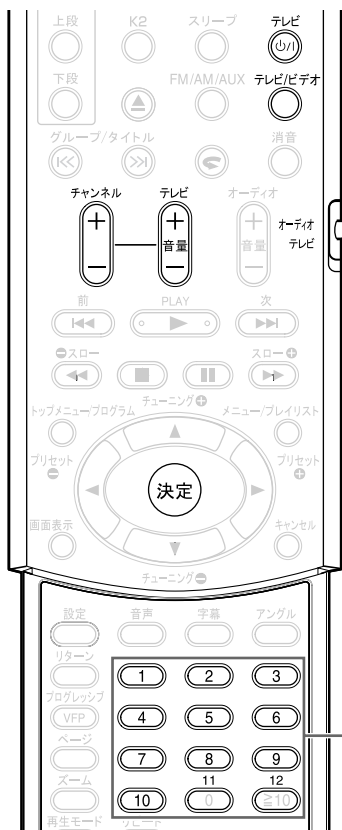
- 電池は、直射日光の当たる所や火の中など、温度の高いところに置いたり近づけたりしないでください。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。極端に斜めから操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

なお、リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、操作できない場合があります。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

このページは、本機のリモコンでテレビも操作したい場合にお読みください。

リモコンでテレビを操作する

テレビのメーカー（メーカーコード）を設定する

1 テレビ/オーディオ切換スイッチをテレビ側にする

2 テレビ(電源)を押し続ける

お知らせ
テレビ(電源)は、手順**5**が終わるまで押したままにしてください。

3 決定を押して離す

4 数字ボタン（1～9、0）を押す

■：お買い上げ時の設定

メーカー	コード
ビクター	01、02、03
アイワ	28、29
NEC	15
コルティナ	31、32、33、34
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
ソニー	11、12、13
東芝	14
パイオニア	16
日立	17、18
フィリップス	30
富士通	09、10
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27

例：　08：0→8
　　　12：1→2
　　　20：2→0　の順に押します。
2つ以上の番号（メーカーコード）があるメーカーの場合、順番に試してみて正しく動作する番号を選んでください。

お知らせ
メーカーコードは変更される場合があり、上記のメーカー製テレビでも操作できない場合があります。

5 テレビ(電源)を離す

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。

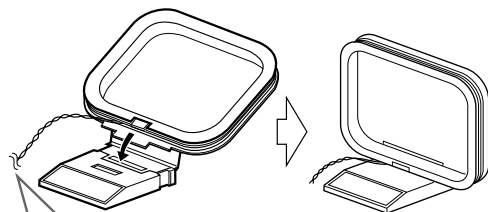
ボタン	操作
テレビ(電源)	電源を「入」/「切」する
チャンネル ＋/－	チャンネルを変える
テレビ 音量 ＋/－	音量を調節する
1 ～ 10 / 11(0) / 12(≧10)　オーディオ/テレビ切換 *1	チャンネル（1～12）を選ぶ
テレビ/ビデオ	テレビとビデオ入力を切り換える

*1 テレビ/オーディオ切換スイッチを、前もってテレビ側に切り換えておいてください。

お知らせ
リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

アンテナを接続する

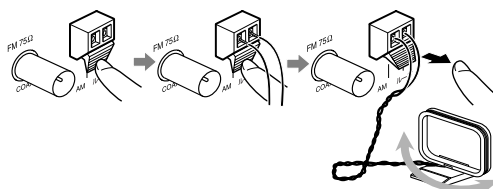
AMアンテナ(付属品)を接続する

AMループアンテナを組み立てる

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、ねじりながら抜き取ります。

お知らせ

- AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

AMループアンテナを接続する

本体(背面)

接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

お知らせ

- アンテナ線が他の端子に触れないようにご注意ください。受信の妨げになることがあります。

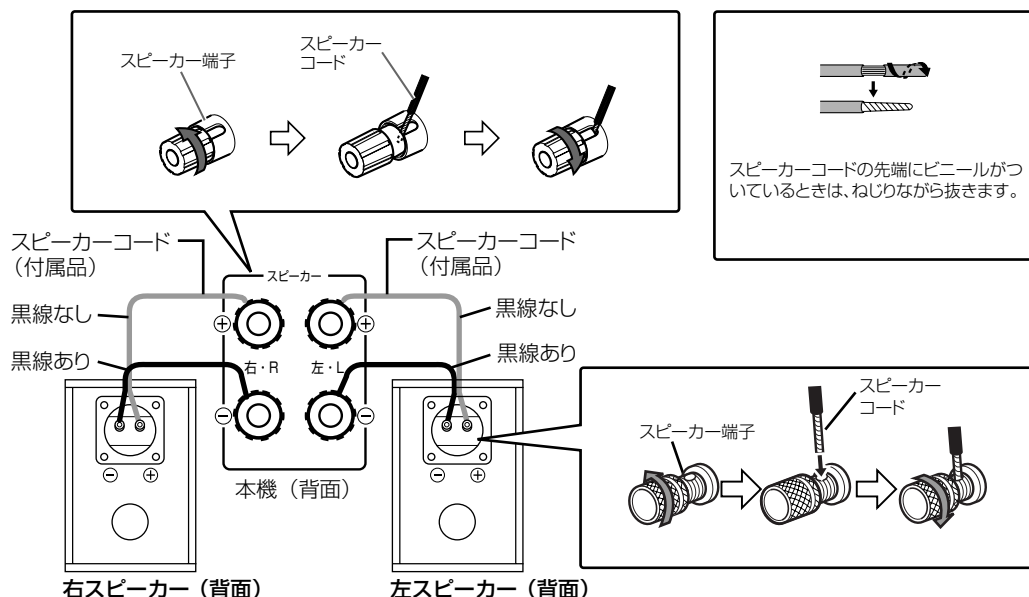
FMアンテナ(付属品)を接続する

付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。

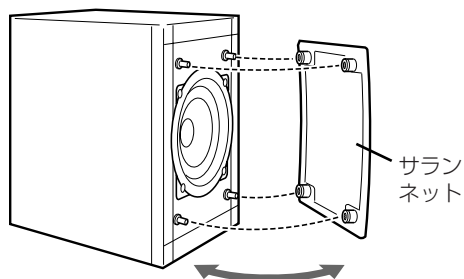
アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください(→40ページ「ラジオを聞く」)。

スピーカーを接続する

スピーカーには左右の区別はありません。

ご注意

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは防磁設計(JEITA仕様)になっておりますが、設置方法によってはテレビに色ムラを生ずることがあります。
  次の点にご注意ください。
  1. 必ずテレビの主電源スイッチを「切」にしてから設置してください。また、テレビの主電源スイッチは、切ってから30分程度待ってから「入」にしてください。
  2. テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを10 cm以上離してください。

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネット(EX-AK1のみ*)と振動板に天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。
* EX-BK1はMDF材を使用しています。

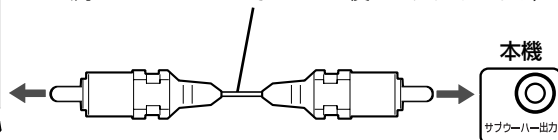
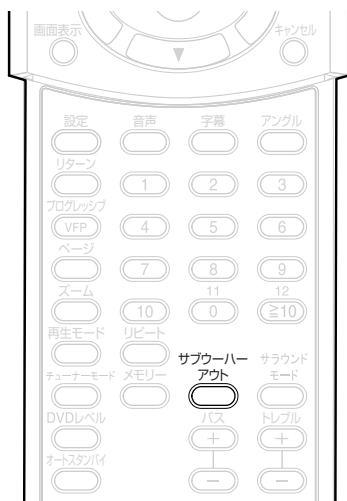
サランネットは取り外すことができます。

お知らせ

- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω～16Ωです。
- 十分な冷却効果を得るために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。

他の機器を接続する

このページは、本機に他の機器を接続して使う場合にお読みください。

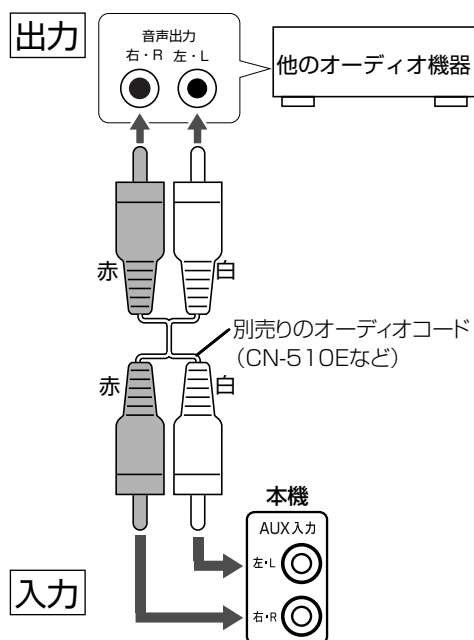
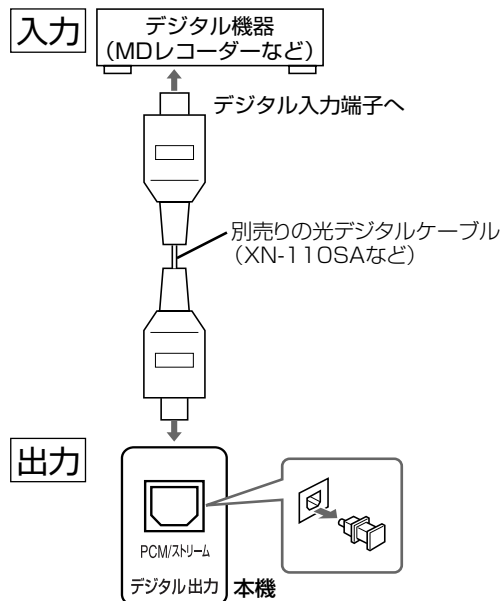
サブウーハーの接続

アンプ内蔵サブウーハー（別売り）を接続すると、より迫力のある重低音がお楽しみいただけます。
詳しくは、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

サブウーハーから音を出したいときは、リモコンの サブウーハーアウト を押して本体の表示窓に「**SUB WFR ON**」を表示させてください。押すごとにONとOFF（サブウーハーから音が出ない）が切り変わります。

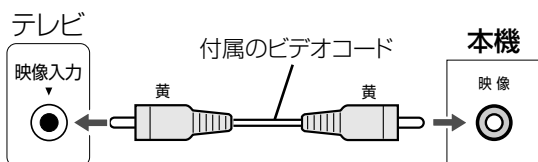
お知らせ

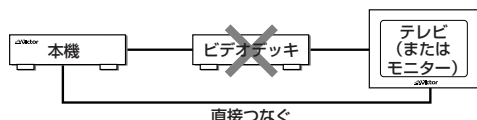
「SUB WFR ON」にすると、本機が自動で左右のスピーカーからの低音を少し小さくし、低音は主にサブウーハーで再生します。

接　続 ーすべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差さないでください。ー

他のオーディオ機器と接続する

デジタル機器と接続する

ご注意

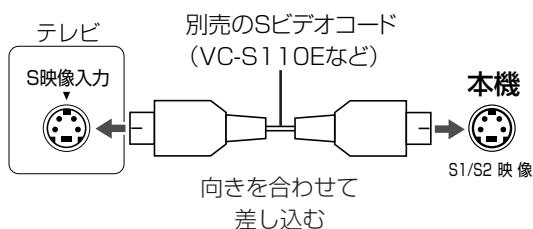
- 出力される信号の詳細については39ページをご覧ください。
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して、本機の「音声設定画面」(☞39ページ)の[Dレンジコントロール]の設定は無効となります。
- ディスクをソースとして選んでいるときに、デジタル出力端子から音声信号を出力することができます。
- 音声信号をデジタル出力端子から出力しているときに、サラウンドモードを押すと、音声が途切れることがあります。

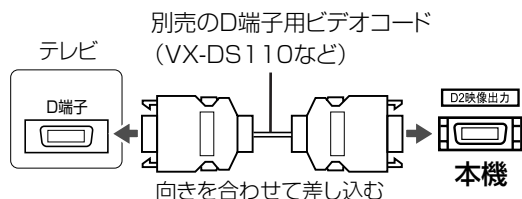
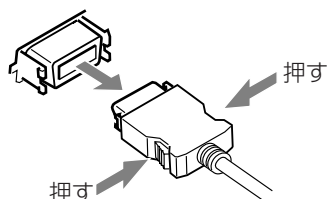
テレビを接続する

ご注意

- 本機とテレビ(またはモニター)は、ビデオデッキなどを経由せず、直接つないでください。再生中に画像が乱れることがあります。

また本機とビデオデッキ内蔵テレビ(テレビデオ)をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。

よりきれいな映像を楽しみたいときは

付属のビデオコードのかわりに以下のコードを使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

Sビデオコードで接続する

D端子用ビデオコードで接続する

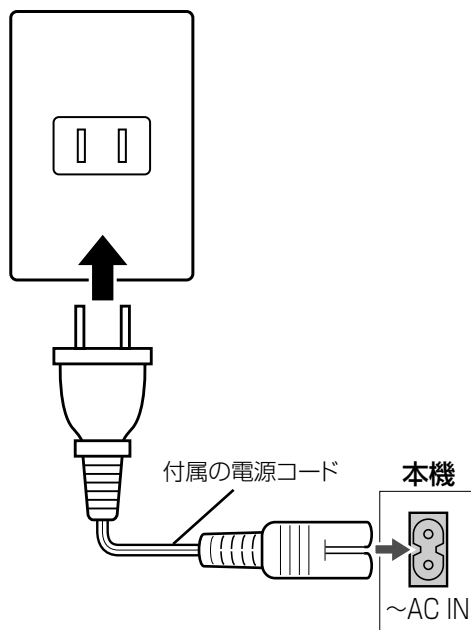
Sビデオコードよりも、さらにきれいな映像をお楽しみいただけます。

■ **D端子コネクターの外しかた**

ご注意

Sビデオコード、D端子用ビデオコードはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。

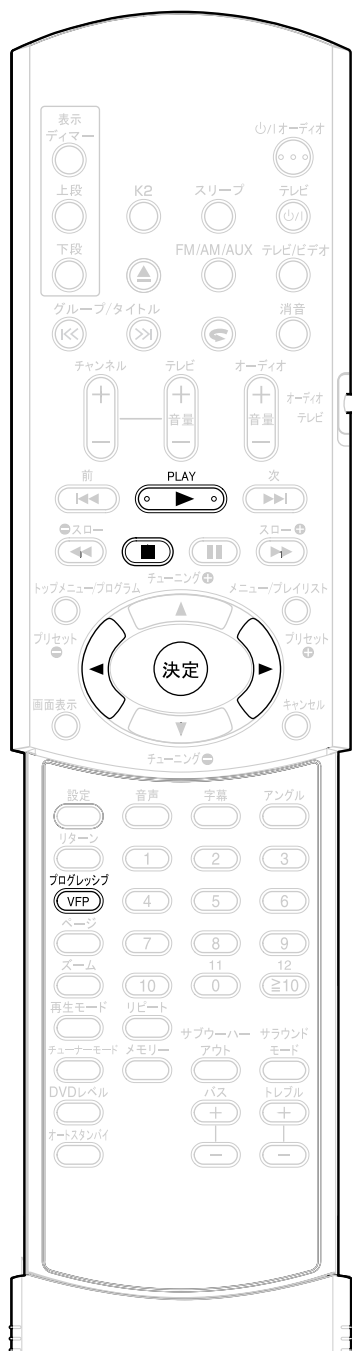
お知らせ

- 本機のD映像端子はD2信号まで対応します。
- 本機には、D1～D5映像入力を持つテレビを接続できます。
- プログレッシブモード(☞16ページ)で映像をお楽しみいただくためには、テレビがD2映像入力以上に対応している必要があります。

電源コードを接続する

家庭用コンセント
(AC100V、50Hz/60Hz)

- STANDBY(スタンバイ)ランプ(本体前面)が点灯します。

ご注意

- 電源コードは、すべての接続が終わってから差し込んでください。
- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。

映像信号方式を設定する

お使いのテレビに合わせて映像信号方式を選びます。

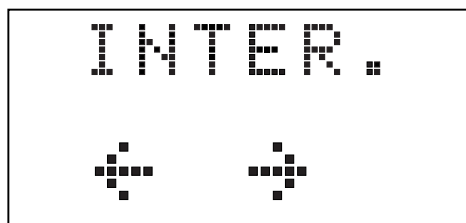
1 電源を入れる

・15ページの「電源コードを接続する」と17ページの「再生する」をご覧ください。

2 PLAY ▶ を押す

・ディスクが入っているときは、■ を押して再生を停止させてください。

3 プログレッシブ VFP を押し続ける

・現在の映像信号方式が点滅します。

4 ◀ または ▶ をくり返し押して、テレビに合った映像信号方式を選ぶ

・「ＩＮＴＥＲ.」（インターレース）または「PROGRESS」（プログレッシブ）から選べます。「PROGRESS」を選ぶと、「INTER.」よりも高精細な映像を再現します。

・「INTER.」を選ぶと「PROGRESS」時の半分の走査線を交互に表示します。従来の映像方式です。

・「PROGRESS」を選ぶと一度にすべての走査線を表示します。

5 決定 を押す

お知らせ

・本体の電源コードをコンセントから外したり、停電などで電源が切れたときでも、設定は保存されています。

ディスク／ファイルを再生する

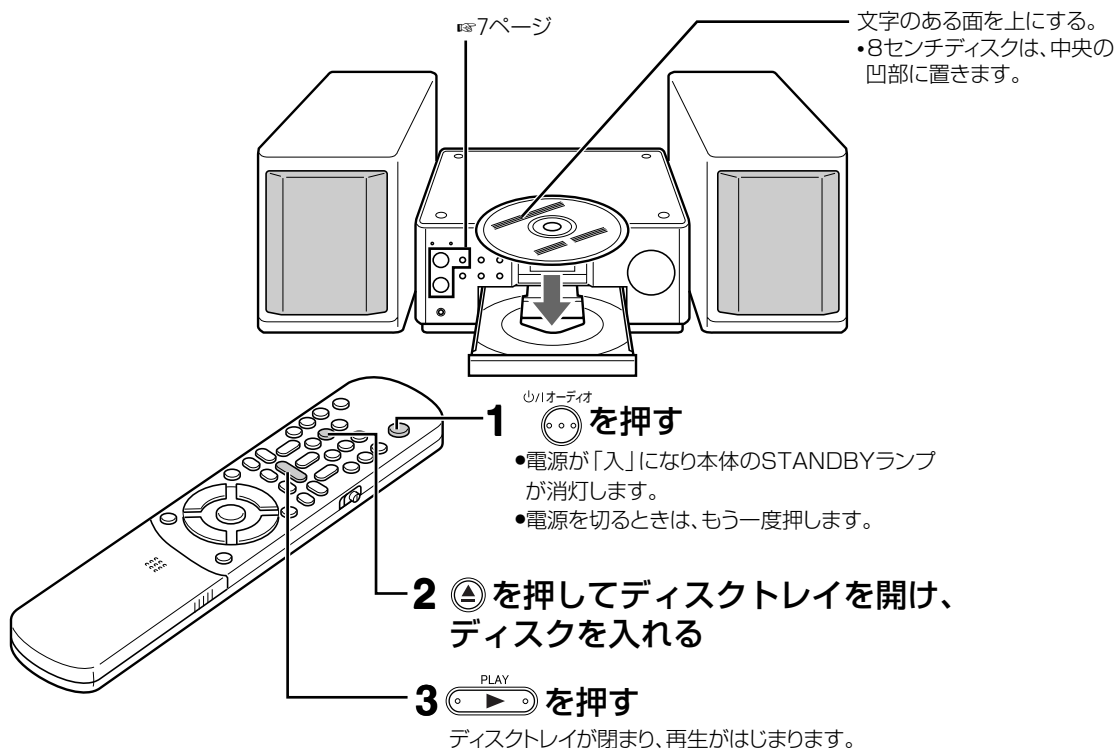
再生する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　（MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2の再生については23ページもご覧ください）

1 ⏻/I オーディオ を押す
- 電源が「入」になり本体のSTANDBYランプが消灯します。
- 電源を切るときは、もう一度押します。

2 ⏏ を押してディスクトレイを開け、ディスクを入れる

3 PLAY ▶ を押す

ディスクトレイが閉まり、再生がはじまります。

• 電源が「切」の状態で ▶/II　FM/AM/AUX　⏏（本体）

（リモコン）のいずれかを押したときも電源が入ります。

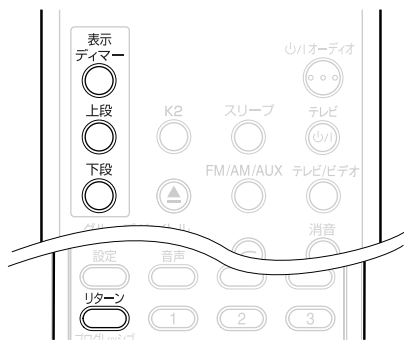
⏏ 以外を押したときは、ソース（音源）も換わります（ディスクが入っていたときは、再生が始まります）。

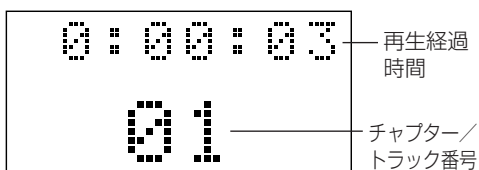
お知らせ
- DVDでは、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。このようなときは、次のリモコンのボタンを使って、希望の項目を選んで再生します。
  - ▲ ▼ ◀ ▶ で項目を選び、決定 を押す
  - 数字ボタンで項目を選ぶ
- ディスク／ファイルによっては、ここでの説明と異なる操作方法のものもあります。

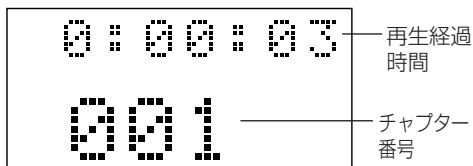
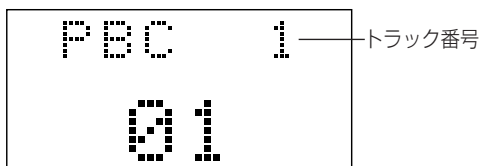
すぐ使ってみる

電源を入れたときテレビに表示される画面

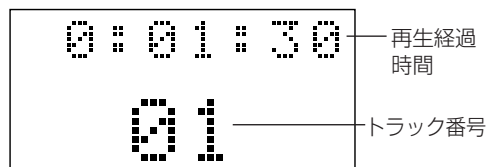
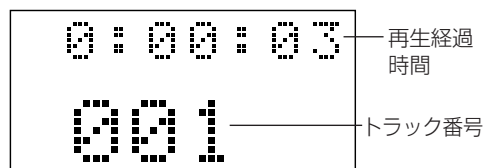
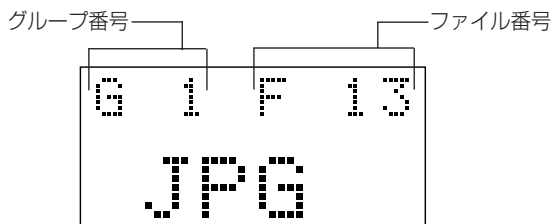
状況に応じて以下のようなメッセージが表示されます。
（ソース（音源）がディスク以外のときは、表示されません。）

NOW READING	ディスク／ファイル読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー!	リージョン番号が異なるため再生できません。（☞46ページ）
NO DISC	ディスクが入っていません。
OPEN	ディスクトレイを開いています。
CLOSE	ディスクトレイを閉じています。
このディスクは再生できません	再生できないディスクです。

ディスク／ファイル再生中の表示窓について

表示例：DVDビデオ／DVDオーディオを再生したとき

DVDオーディオを再生中に「BONUS」や「B.S.P」が表示されたら☞35ページ

表示例：DVD VRを再生したとき

表示例：VCD／SVCDを再生したとき

- PBC（プレイバックコントロール）：VCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応VCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。PBCをオフにして再生したいときは、次の操作を行なってください。
  - 停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定する
  - 停止中に ⏮ または ⏭ でトラック番号を指定し、PLAY ▶ を押す

- VCDとSVCDをPBC再生中、1つ上の階層に戻るときは リターン を押します。

表示例：CDを再生したとき

表示例：MP3/WMA/WAV/MPEG1/MPEG2ファイルを再生したとき

表示例：JPEGファイルを再生したとき

表示を切り換える

上段 ◯または 下段 ◯ を押します。押すごとに表示が切り換わります。

表示例

DVDビデオ

上段: →0:00:03（再生時間）→T1 C3（再生タイトル/チャプター）→表示なし→

下段: →03（再生チャプター）→T1（再生タイトル）→DVD→

DVDオーディオ

上段: →0:00:03（再生時間）→G1 T3（再生グループ/トラック）→表示なし→

下段: →03（再生トラック）→G1（再生グループ）→DVD→

DVD VR*1

上段: →0:00:03（再生時間）→PG1 C3（オリジナルプログラム/チャプター）→表示なし→

下段: →001（再生チャプター）→G1（オリジナルプログラム）→VR→

VCD/SVCD

上段: →0:00:03（再生時間）→表示なし→PBC　2（PBC時のみPBC表示と再生トラック）→

下段: →02（再生トラック）→VCD→

CD

上段: →0:00:03（再生時間）→表示なし→

下段: →02（再生トラック）→CD→

MP3/WMA/WAV/MPEG1/MPEG2ファイル

上段: →0:00:03（再生時間）*2→G1 T3（再生グループ/トラック）→表示なし→

下段: →G1（再生グループ）→MP3*3→003（再生トラック）→

JPEGファイル

上段: →G1 F3（再生グループ/ファイル）→表示なし→

下段: JPG

*1 DVD VR再生中は、「PG」、「G」（オリジナルプログラム）または「PL」、「L」（プレイリスト）が表示されます。

*2 MP3/WMAファイルにタグ情報などのテキストが記録されているときは、表示窓にスクロール表示されます。

*3 再生中のファイルにしたがって、「MP3」、「WMA」、「WAV」または「MPG」が表示されます。

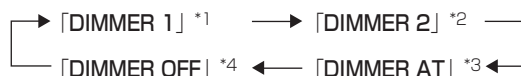
お知らせ

G: グループ
オリジナルプログラム（DVD VR）
T: タイトル（DVDビデオ）
トラック
C: チャプター
F: ファイル
PG: オリジナルプログラム
PL, L: プレイリスト
の略です。

表示窓の明るさを変更する [DIMMER（ディマー）]

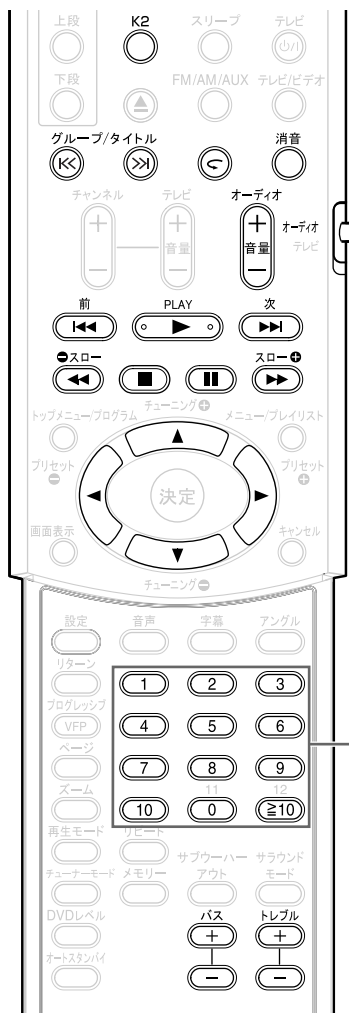
表示 ディマー をくり返し押す

- 表示 ディマー ◯ を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。

→「DIMMER 1」*1 →「DIMMER 2」*2 →「DIMMER AT」*3 →「DIMMER OFF」*4 →

*1 通常よりも表示が暗くなります。

*2 「DIMMER 1」よりも表示が暗くなります。

*3 映像ディスク/ファイルの再生中に、表示が自動的に暗くなります。

*4 通常の明るさに戻ります。

数字ボタンで再生するところを選ぶ

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

お知らせ
- 数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。
- VCDとSVCD（スーパービデオCD）は停止中またはPBCオフで再生中に操作できます。
- DVDオーディオ、CD、MP3、JPEGは停止中も操作できます。
- ディスクによっては操作ができないこともあります。

再生中に数字ボタンを押して再生したいチャプター/トラック番号を指定する

「数字ボタンの使い方」（☞21ページ）をご覧ください。

停止する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

再生中に ■ を押す

一時停止する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

再生中に Ⅱ を押す

PLAY ▶ を押すと、通常の再生に戻ります。
- JPEGファイルのスライドショー再生中は、Ⅱ を押すと一時停止します。PLAY ▶ を押すと次のファイルから再生を開始します。

画像を1コマずつ送る

DVD ビデオ　DVD VR　VCD SVCD　MPEG1 MPEG2　DVD オーディオ（動画部のみ）

一時停止中に Ⅱ を押す

押すごとに1コマずつ進みます。

早送り／早戻し

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　MPEG1 MPEG2

次の2つの方法があります。
- **再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す**

  押すごとにスピードが速くなります。通常の再生に戻したいときは PLAY ▶ を押します。
- **⏮ または ⏭ を押し続ける**

  ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しします。

お知らせ
- 早送り/早戻ししているとき、ディスク/ファイルによっては、音声が断続的になるものや、出ないものがあります。
- ディスク/ファイルの種類によって、選べるスピードや表示が異なります。

約10秒前から再生し直す [チョット見バック]

DVD ビデオ　DVD VR

再生中に ⟲ を押す

お知らせ
- 一つ前のタイトルおよびオリジナルプログラム（プレイリスト）に戻ることはできません。

スローモーション再生する [スロー再生]

DVD ビデオ　DVD VR　VCD SVCD
DVD オーディオ ー(動画部のみ)

一時停止中に ⊖スロー ◀◀ または スロー⊕ ▶▶ を押す

• 押すごとにスピードが速くなります。
• Ⅱ を押すと一時停止、PLAY ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ
• 音声は再生されません。
• 逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。
• VCD、SVCD(スーパービデオCD)とDVD VRでは、順方向のみスロー再生できます。

頭出しする

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　VCD SVCD　MP3 WMA
WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

再生中*に 前 ⏮ または 次 ⏭ を押す

• タイトルやグループを選ぶときは グループ/タイトル ⋘ ⋙ を押します。

お知らせ
＊ランダム再生中に 前 ⏮ を押しても、前の曲には戻れません。(→29ページ)

約5分ごとに送る／戻す

MPEG1 MPEG2

ファイル内を約5分の区切りで移動することができます。長時間のファイルの中を移動したいときに便利です。

再生中に ◀ または ▶ を押す

• ◀ または ▶ を押すごとに前後の区切りに移動します。区切りと区切りの間隔は約5分です。

お知らせ
• 区切りは、ファイルの頭から順に自動的に割り振られます。
• 移動できるのは同じファイルの中だけです。

すぐ使ってみる

数字ボタンの使い方

例:
5: (5)
15: (≧10) → (1) → (5)
20: (≧10) → (2) → (0)
25: (≧10) → (2) → (5)
125: (≧10) → (≧10) → (1) → (2) → (5)

テレビ画面に表示されるマーク(オンスクリーンガイド)

▶ : 再生
Ⅱ : 一時停止
◀◀ ▶▶ : 早戻し/早送り
◀Ⅰ Ⅰ▶ : スロー再生(逆方向/順方向)
: 複数のアングルあり(☞ 32ページ)
: 複数の音声あり(☞ 32ページ)
: 複数の字幕あり(☞ 32ページ)
⊘ : そのディスク／ファイルでは、行なった操作が禁止されています。

（つづき）
ディスク／ファイルを再生する

以下の項目は全てのソース（音源）で操作できます。

音量を調節する

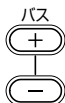
を押す

お知らせ

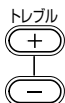
本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。

音質を調節する

低音（BASS）：

を押す

高音（TREBLE）：

を押す

一時的に音を消す［消音（MUTING）］

消音

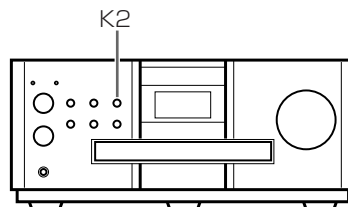
を押す

- スピーカー、ヘッドホン、サブウーハーからの音が出なくなります。
- もう一度 消音 を押すともとの音量に戻ります。電源を入れ直したときも、もとの音量に戻ります。

再生音質を高める（K2機能）

K2機能は、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にします。
デジタル音声にハイビット化（24bit）およびハイサンプリング化（128 kHz、176.4 kHzまたは192 kHz）の処理を行い、信号成分を補完します。

リモコンまたは本体の K2 を押す

- K2機能が有効なとき、本体のK2ランプが点灯します。
- K2 を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。
  - 「K2 Mode 1」：
    圧縮されていないデジタル音声信号（リニアPCM）を再生するときに最適です。
  - 「K2 Mode 2」：
    圧縮されたデジタル音声信号（ドルビーデジタル、DTS、MP3またはWMA）を再生するときに最適です。
  - 「K2 OFF」：
    K2機能を解除します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「K2 Mode 1」です。
- ヘッドホンサラウンドまたはサウンドモードが有効なときに、K2 を押すとK2機能が優先されます。
- ラジオやAUX入力端子に接続したオーディオ機器がソースとして選ばれているときに、K2 を押すと「NO OPE K2」が表示窓に表示され、K2機能は働きません。ディスクがソースとして選ばれているときに、K2機能は有効です。
- 32 kHz、44.1 kHzまたは48 kHzのサンプリング周波数が、それぞれ128 kHz、176.4 kHzまたは192 kHzに拡張されます。
- K2機能は、「デジタルOUT」が「PCMのみ」のときに使えます（→39ページ）。「DOLBY DIGITAL/PCM」または「ストリーム/PCM」のときは「NO OPE K2」が表示され、K2機能は使えません。

MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2ファイルを再生する

お知らせ

数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

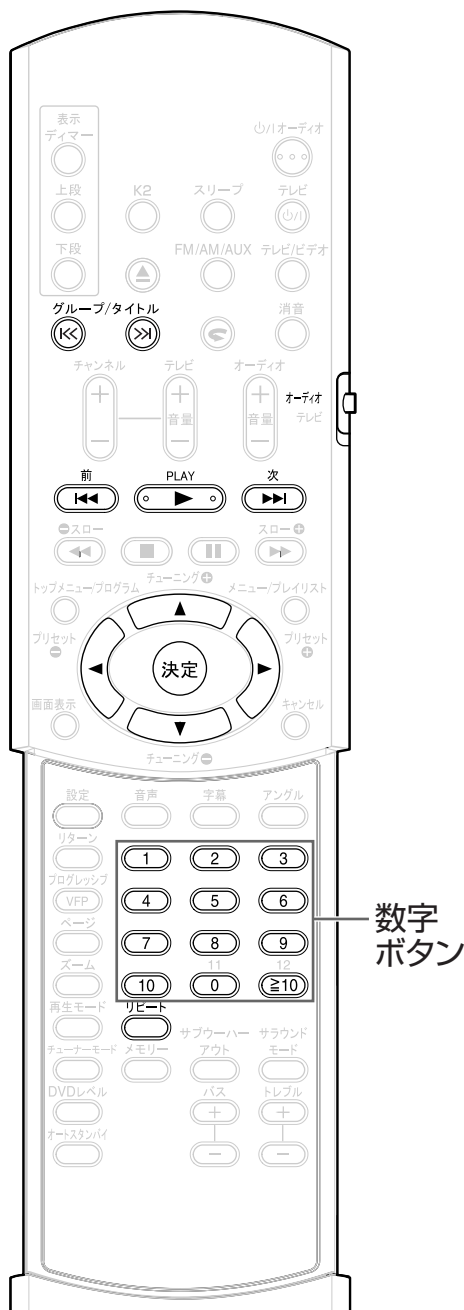
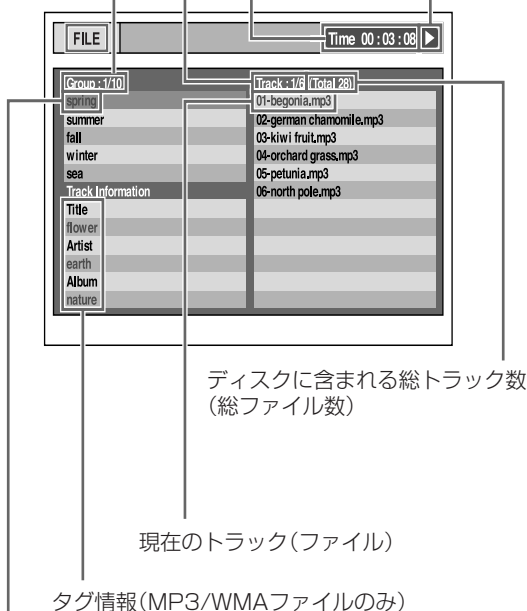
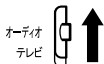
再生する

MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

ここではMP3ファイルの表示を例に説明します。

お知らせ

ディスクに異なる種類のファイル(オーディオ/静止画/ビデオ)が複数記録されているときは、どの種類のファイルを再生するのかを設定してください。(→39ページ「ファイルタイプ」)

1 ディスクを入れる

使いこなす

2 ▲ ▼ を押してグループを選ぶ

3 ▶ を押して、トラックリスト側に移動する

◀ を押すとグループリストに戻れます。

4 ▲ ▼ を押してトラックを選ぶ

5 PLAY ▶ または 決定 を押す

お知らせ
- 手順**2**では グループ/タイトル ⏮ ⏭ も使えます。
- 手順**4**では数字ボタンも使えます。そのときは手順**3**と**5**は不要です。（数字ボタンの使い方は21ページをご覧ください。）
- 手順**4**では 前 ⏮ 次 ⏭ も使えます。そのときは手順**3**は不要です。

スライドショー再生について JPEG
- JPEGファイルでは手順5で PLAY ▶ を押すとそのファイルから連続して再生し（スライドショー再生）、決定 を押すと選んだファイルのみ再生します。
- スライドショー再生での1ファイルの表示時間は約3秒です。

リピート（くり返し）再生する

MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

1 停止中に リピート を押す

押すごとにリピートの種類が切り換わります。

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート（JPEGを除く）	REPEAT TRACK	↻
現在のグループをリピート	REPEAT GROUP	↻ ALL ※
ディスク全体をリピート	REPEAT ALL	↻ ALL
リピートを解除	表示なし	表示なし
プログラムまたはランダム再生中、現在のトラックをリピート（JPEG, MPEG1, MPEG2を除く）	REPEAT STEP	↻ PRGM または RANDOM
プログラムした全てのトラックまたはランダム再生状態の全トラックをリピート（JPEG, MPEG1, MPEG2を除く）	REPEAT ALL	↻ ALL PRGM または RANDOM

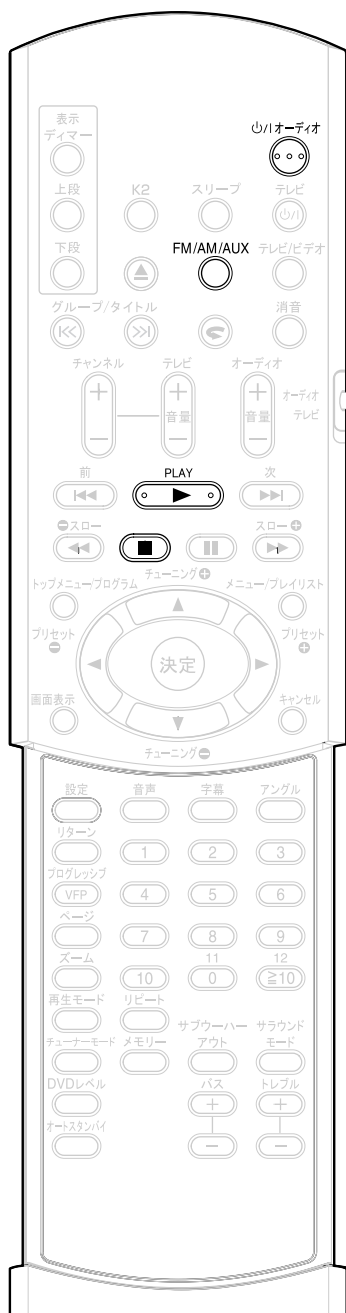
※ 点滅マーク は点滅の意味です。

2 PLAY ▶ を押す

お知らせ
- 再生中もリピートの種類を切り換えることができます。
- 再生できないファイルがあるときはリピートモードは自動で解除されます（☞46ページ）。

あとで続きを再生する[RESUME]
リジューム

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　MP3 WMA　WAV　MPEG1 MPEG2

再生を途中で停止したとき、その場面から再び再生することができます。
これを「リジューム」機能と呼びます。

中断したいとき

再生中に、いずれかを行う。

■ を1回押す。*
⏻/I オーディオ を押して電源を「切」にする。
ディスク/ファイル以外をソースとして選ぶ。*

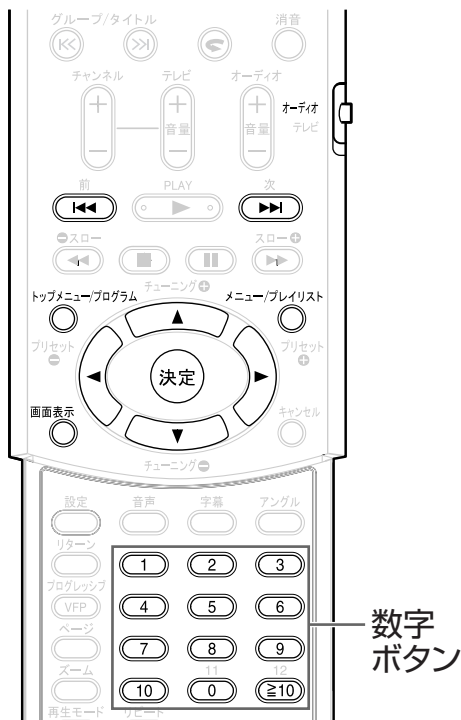
* このあと ⏻/I オーディオ を押して電源を「切」にしても位置の記憶は残ります。

つづきを再生したいとき

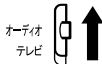
PLAY ▶ を押す。

お知らせ

- プログラム再生やランダム再生では機能しません。
- 再生を再開する位置が、停止した位置と少し異なることがあります。
- ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム機能が働かないことがあります。
- 停止位置とともに、そのときの音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると取り消されます。また、再生中に ■ を押すと「RESUME」と表示されます。このときに ■ を押すと「RESUME OFF」と表示されて、記憶が取り消されます。
- **お買い上げ時はリジュームが「オン(リジュームする)」に設定されています。「オフ(リジュームしない)」に設定することもできます(☞39ページ)**

使いこなす

再生するところを選ぶ

お知らせ

数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。　オーディオ　テレビ

メニューから選ぶ

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD

1 停止中または再生中*1に メニュー/プレイリスト ◯ または トップメニュー/プログラム ◯ を押す

ディスクのメニュー画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ (DVDビデオ、DVDオーディオのみ)、または数字ボタンを押して再生するところを選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞21ページ)をご覧ください。
- メニュー画面に複数のページが用意されているときは、⏮ または ⏭ を押してページを切り換えます(VCD、SVCDのみ)。

3 (決定)を押す

お知らせ

*1 VCDとSVCDはPBC OFFのときのみ
- メニュー画面が収録されていないディスクでは操作できません。
- ディスクによっては(決定)を押さなくても再生が始まります。

DVD VR

1 停止中または再生中にオリジナルプログラムを表示したいときは トップメニュー/プログラム ◯ を、プレイリストを表示したいときは メニュー/プレイリスト ◯ を押す

オリジナルプログラム

プレイリスト

- プレイリストが収録されていないときは、表示されません。

2 ▲ または ▼ を押して、再生したいタイトルを選ぶ

3 (決定)を押す

- 手順1で トップメニュー/プログラム ◯ を押してオリジナルプログラムから選んだときは、選んだタイトルから連続して再生します。
- 手順1で メニュー/プレイリスト ◯ を押してプレイリストから選んだときは、選んだタイトルのみを再生します。

時間を指定する[タイムサーチ]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　VCD SVCD

1 再生中に[1] 画面表示 を2回押す

メニューバー(☞ 36ページ)が表示されます。

2 ◀▶を押して ⊙➡ を選ぶ

3 決定 を押す

4 数字ボタン(1～9、0)を押して時間[2]を入力する

例：DVDビデオ（0時間）23分45秒から再生したいとき

0 → 2 → 3 → 4 → 5

の順に押す。「分・秒」は省略できます。

- 間違えたときは◀を押して数字を消去し、入力し直します。

5 決定 を押す

メニューバーを消すときは 画面表示 を押します。

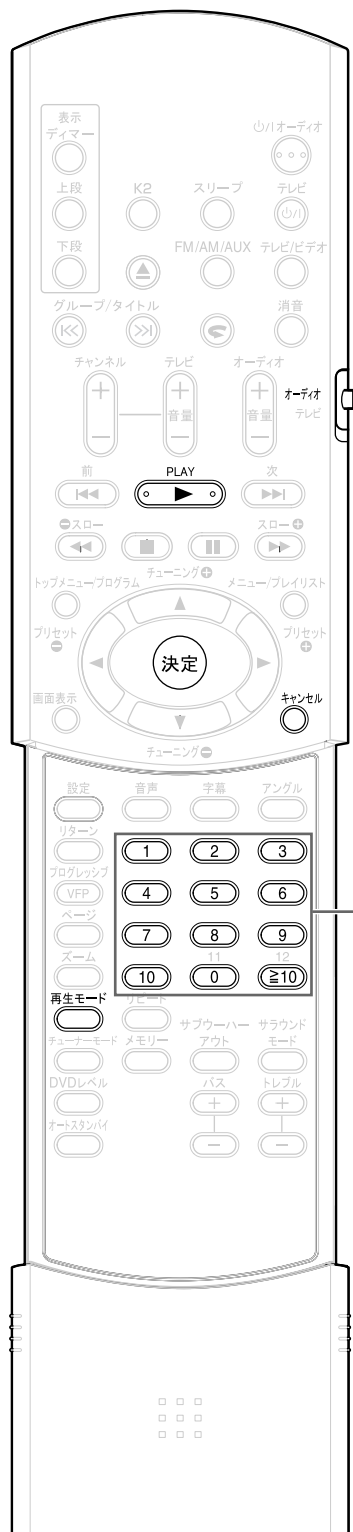
お知らせ

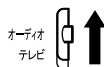
- プログラム・ランダム再生中はこの機能は働きません。

[1] VCDとSVCDは停止中またはPBCオフで再生中、CDはいつでも操作できます。

[2] DVDビデオはタイトルの先頭から、DVDオーディオは再生中のトラックの先頭から始まります。
VCD、SVCDとCDでのタイムサーチは、次のようになります。
- 停止中はディスクの先頭からの時間でのタイムサーチ
- 再生中は、現在のトラック内でのタイムサーチ

プログラム再生／ランダム再生

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV

お知らせ

数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

お好みの順番で再生する[プログラム再生]

最大99のトラック/チャプターをプログラムできます。同じトラック/チャプターを何度もプログラムできます。

1 停止中に再生モードをくり返し押し、本体の表示窓に「PROGRAM」(上段表示窓)と「PRGM」を点灯させる。

例 DVDビデオのとき　テレビ画面

2 テレビ画面の説明にしたがってプログラムする

10キー(数字ボタン)の使い方は「数字ボタンの使い方」(☞21ページ)をご覧ください。

- DVDオーディオのボーナスグループを選ぶときは、あらかじめ35ページ「ボーナスグループを再生する」の操作をして、「BONUS」表示を消してください。
- トラック/チャプターの入力数が99を超えると、「FULL」が表示されます。
- CD、SVCD、VCDの場合は、再生時間の合計が９時間５９分５９秒以上になると、表示窓に「－：－－：－－」と表示されます(プログラムはできます)。

本体の表示窓を見ながらプログラムするときは次のように操作します。

(1) 数字ボタンでグループ/タイトルを選ぶ
　上段表示窓の表示例：T2　C－－

(2) 数字ボタンでトラック/チャプター番号を指定する
　上段表示窓の表示例：T2　C 3
- 「数字ボタンの使い方」(☞21ページ)をご覧ください。
- 下段表示窓にはプログラムの番号が表示されます。(例：P2)

(3) 1〜2をくり返し、プログラムを完了させる
　プログラムが完了したら、手順**3**に進みます。

お知らせ

（DVDビデオ、DVDオーディオ、MP3/WMA/WAV）
トラック／チャプター番号を入力するかわりに（決定）を押すと「ALL」と表示され、そのグループ／タイトルに含まれるすべてのトラック／チャプターがプログラムされます。

3 PLAY（▶）を押す

- 通常の再生に戻したいときは、停止中に（再生モード）をくり返し押し、本体の表示窓に「NORMAL」を表示させます。プログラムの内容は残ります。
- 次の操作をすると、プログラムの内容が消去されます。
  - プログラム設定画面が表示された状態で、表示窓に「CLEAR!」が表示されるまで（キャンセル）を押し続ける（押してすぐ離すと、プログラムが1つずつ消去されます）
  - ディスクトレイを開ける
  - 電源を「切」にする

無作為な順番で再生する[ランダム再生]

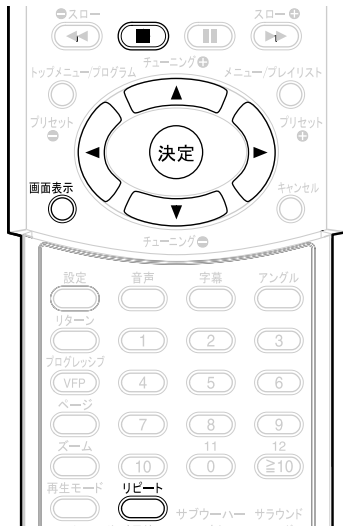
1 停止中に（再生モード）をくり返し押し、本体の表示窓に「RANDOM（ランダム）」を表示させる。

テレビ画面には ランダム または「RANDOM」と表示されます。

2 PLAY（▶）を押す

- 同じチャプター／トラックが2度再生されることはありません。
- 通常の再生に戻したいときは、停止中に（再生モード）をくり返し押し、本体の表示窓に「NORMAL」を表示させます。
- 次の操作をしても、ランダム再生は解除されます。
  - ディスクトレイを開ける
  - 電源を「切」にする
- ランダム再生中に（前 ⏮）をくり返し押しても、前の曲には戻れません（現在のチャプター/トラックの頭に戻ります）。

リピート再生

MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2のリピート再生については24ページをご覧ください。

タイトル/チャプター/グループ/トラック/全トラックをくり返し再生する[リピート]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD

1 再生中に リピート を押す

押すごとにリピートの種類が切り換わります。

例:

テレビ画面　CHAP

本体の表示窓

DVDビデオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプターをリピート	CHAP(チャプター)	
現在のタイトルをリピート	TITLE(タイトル)	ALL※
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

DVDオーディオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK(トラック)	
現在のグループをリピート	GROUP(グループ)	ALL※
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

※ は点滅の意味です。

DVD VRのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプターをリピート	CHAP(チャプター)	
現在のプログラムをリピート	PG(プログラム)	ALL※
現在のプレイリストをリピート	PL(プレイリスト)	ALL※
全チャプターをリピート	ALL(オール)	ALL
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

※ は点滅の意味です。

CD/VCD/SVCDのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK(トラック)	
全トラックをリピート	ALL(オール)	ALL
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

お知らせ

- VCDとSVCDは停止中またはPBCオフで再生中、DVDオーディオとCDはいつでも操作できます。
- メニューバーでリピートを設定することもできます。操作方法は「指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]」(☞31ページ)をご覧ください。
- 本体の表示窓に表示される略語の意味は以下のとおりです。
  TRK ：トラック　　PG：オリジナルプログラム
  CHP ：チャプター
  TI. ：タイトル　　PL：プレイリスト
  GR. ：グループ
- DVDビデオとDVD VRは、ディスク以外をソースとして選ぶとリピートは解除されます。

プログラム再生/ランダム再生中のリピート

DVD VRはこの操作ができません。

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプター／トラックをリピート	STEP(ステップ) または REPEAT STEP	PRGM または RANDOM
プログラムした全てのトラックまたはランダム再生状態の全トラックをリピート	ALL(オール) または REPEAT ALL	ALL PRGM または RANDOM
リピートを解除	OFF(オフ) または表示なし	PRGM または RANDOM

指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD

1　再生中に 画面表示 を2回押す

メニューバー(☞ 36ページ)が表示されます。

2　◀▶ を押して ⊂ OFF を選ぶ

3　決定 を押す

4　▲ ▼ を押して A-B を表示させる

ここで他のリピートモードを選ぶこともできます。他のリピートモードについては、「タイトル/チャプター/グループ/トラック/全トラックをくり返し再生する[リピート]」(☞30ページ)をご覧ください。

5　くり返す範囲の始点で 決定 を押す（Aポイントの指定）

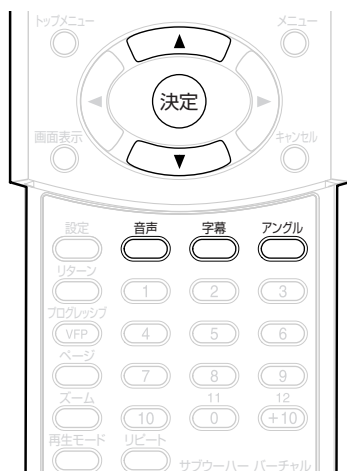
- メニューバーのアイコンが ⊂ A- になります。

6　くり返す範囲の終点で 決定 を押す（Bポイントの指定）

- メニューバーのアイコンが ⊂ A-B になり、本体の表示窓に ⊂ が点滅表示され、A-Bポイント間がリピート再生されます。
- 次の操作をすると、A-Bリピートは解除されます。
  - ■ を押す
  - ⊂ A-B を選んで 決定 を2回押す

お知らせ

タイトルやトラックにまたがるA-Bリピートはできません。また、PBC再生中、プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートができません。

その他の便利な機能

字幕を切り換える

DVD ビデオ　DVD VR　VCD SVCD　DVD オーディオ
（動画部のみ）

1　複数の言語が入ったディスクを再生中に、（字幕）を押す

例：

テレビ画面

- （字幕）を押すごとに、字幕のオン／オフを切り換えることができます。

2　（▲）（▼）を押して字幕の言語を選ぶ

- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」（☞ 51ページ）をご覧ください。
- ディスクによっては字幕言語の表示方法が異なるものもあります。

3　そのまま数秒間待つか、（決定）を押す

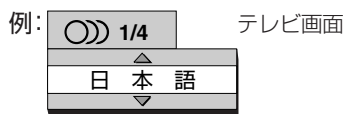
お知らせ
- メニューバー（☞ 36ページ）で操作することもできます。
- SVCDの場合、手順**1**で（字幕）を押すごとに字幕の種類、オン／オフが切り換わります。

音声を切り換える

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD

1　複数の音声が入ったディスクを再生中に、（音声）を押す

例：

テレビ画面

- （音声）を押すごとに音声の種類が切り換わります。（▲）（▼）を押しても切り換わります。
- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」（☞ 51ページ）をご覧ください。
- VCD、SVCDまたはDVD VRのときに表示される「ST」「L」「R」はそれぞれ「ステレオ」「左の音声」「右の音声」の意味です。

2　そのまま数秒間待つか、（決定）を押す

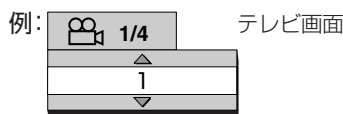
お知らせ
メニューバー（☞ 36ページ）で操作することもできます。

アングル（角度）を切り換える

DVD ビデオ　DVD オーディオ
（動画部のみ）

1　複数のアングルが入った場面を再生中に、（アングル）を押す

例：

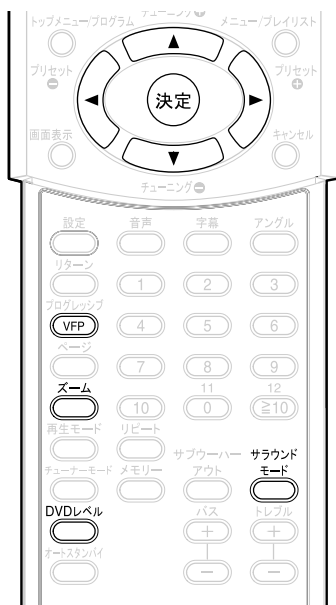
テレビ画面

- （アングル）を押すごとにアングルが切り換わります。（▲）（▼）を押しても切り換わります。

2　そのまま数秒間待つか、（決定）を押す

お知らせ
- メニューバー（☞36ページ）で操作することもできます。

画像を拡大する[ズーム]

DVDビデオ DVD VR VCD SVCD JPEG MPEG1 MPEG2

DVDオーディオ ―（動画部のみ）

1 再生中、または一時停止中に ズーム を押す

- 押すごとに倍率が変わります。
- （JPEGファイル）スライド再生中は操作できません。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、見たい部分を選ぶ

- 通常の表示に戻したいときは、手順**1**で「OFF」を選びます。

画質を調節する[VFP]

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD JPEG MPEG1 MPEG2

1 再生中、または一時停止中に VFP を押す

ノーマル	
ガンマ	0
明るさ	0
コントラスト	0
色のこさ	0
色合い	0
シャープネス	0

2 ◀ ▶ を押してVFPモードを選ぶ

- 通常の状態では「**ノーマル**」、照明を落とした部屋では「**シネマ**」がお勧めです。「**ノーマル**」と「**シネマ**」を選んだときは、手順**7**へ進んでください。
- 「**ユーザー1**」と「**ユーザー2**」を選ぶと手順**3**以降の操作で細かい調節ができます。

3 ▲ ▼ を押して、調節したい項目を選ぶ

- **「ガンマ」**
  画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節できます。
  （調節範囲：-3〜+3）
- **「明るさ」**
  画面の明るさを調節します。
  （調節範囲：-8〜+8）
- **「コントラスト」**
  画面のコントラストを調節します。
  （調節範囲：-7〜 +7）
- **「色のこさ」**
  画面の色の濃さを調節します。
  （調節範囲：-7〜 +7）
- **「色合い」**
  画面の色合いを調節します。
  （調節範囲：-7〜+7）
- **「シャープネス」**
  画面のシャープさを調節します。
  （調節範囲：-8〜+8）

4 決定 を押す

テレビ画面

例：
5 ▲ ▼ を押して数値を変更する

6 決定 を押す

他の項目も調節したいときは、手順**3**に戻ります。

7 VFP を押す

お知らせ

- 操作の途中で数秒間何も操作をしないと、それまでの変更が自動で設定されます。
- VFPはVideo Fine Processorの略です。

サラウンド感を出す[サラウンドモード]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV

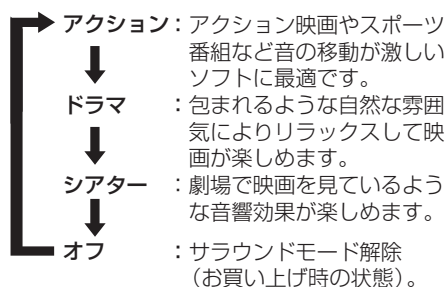
2本のスピーカーで擬似的にサラウンドの効果を得ることができます。
・ディスクがソースとして選ばれているときに、サラウンドモードは使えます。

1 再生中に サラウンドモード を押す

例：テレビ画面

3D PHONIC	アクション

• 押すごとに、次のように切り換わります。

アクション：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
ドラマ：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
↓
シアター：劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
↓
オフ：サラウンドモード解除（お買い上げ時の状態）。

• サラウンドモードが有効のときは、表示窓に「SURROUND（サラウンド）」と表示されます。

お知らせ

• スピーカーに効果があります。
• 雑音が多いときや音が歪むときは、「オフ」にしてください。
• K2機能が有効なときにサラウンドモードを有効にすると、K2機能は自動的に解除されます。

ヘッドホンサラウンドで聞く

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV

PHONES端子に接続したヘッドホンでサラウンド感を楽しむことができます。
・ディスクがソースとして選ばれているときに、ヘッドホンサラウンドは使えます。

■ ヘッドホンがPHONES端子に接続されているとき

1 サラウンドモード を押す

• サラウンドモード を押すごとに、設定が「SURROUND ON」または「SURROUND OFF」に切り換わります。
• K2機能が有効なときにヘッドホンサラウンドを有効にすると、K2機能は自動的に解除されます。

お知らせ

• PHONES端子にはステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーから音が出なくなります。
• ヘッドホンサラウンドが有効に設定されているときに、ヘッドホンを接続すると「SURROUND ON」が表示されます。

再生レベルを調節する [DVDレベル]

DVD ビデオ　DVD オーディオ

DVDビデオ/DVDオーディオの音声は、他の種類のディスクよりも低いレベル（音量）で収録されている場合があります。この差が気になるときはDVDレベルを調節してください。

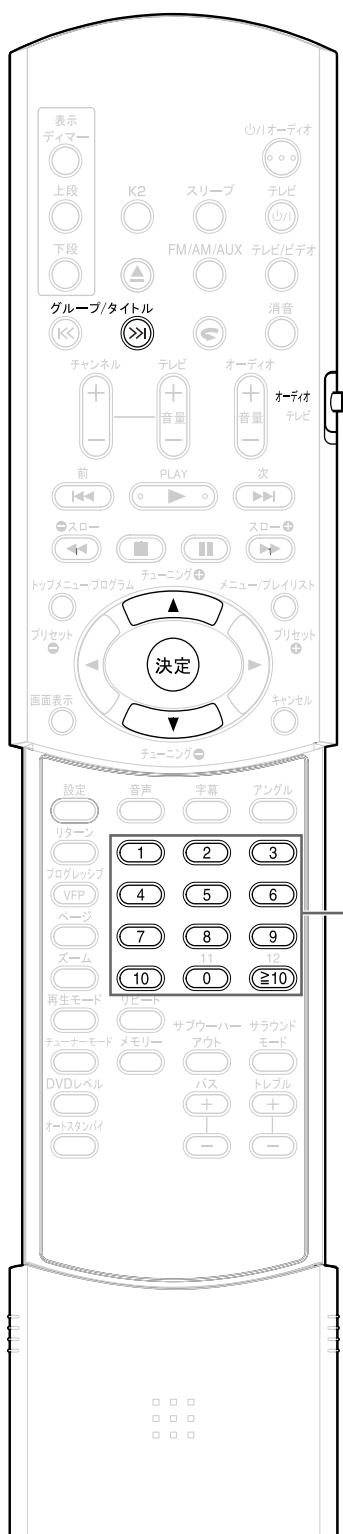
1 再生中に DVDレベル を押す

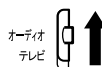
• 押すごとに「NOR」（Normal）/「MID」（Middle）/「HIG」（High）と切り換わります。
• 再生される音を聞きながら、お好みのレベルを選んでください。

お知らせ

• 設定したDVDレベルは、DVDの再生時のみ有効です。
• DVDレベルを変えてもデジタル音声出力端子からの出力レベルは変わりません。
• 停止中、一時停止中も操作できます。

DVDオーディオ特有の機能

DVD オーディオ

お知らせ

数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。 オーディオ テレビ

ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、ボーナスグループと呼ばれる特別なグループを収録したものがあります。

お知らせ

本体の表示窓に、「BONUS」が点灯しているときに操作できます。

1 再生中に⏭をくり返し押してボーナスグループを選ぶ

テレビ画面と本体の表示窓に「**KEY**_ _ _ _」が表示されます。

2 数字ボタンを押して暗証番号(4ケタ)を入力する

暗証番号を知る方法は、ディスクによって異なります。

3 (決定)を押す

- 正しい暗証番号を入力すると、「BONUS」表示が消え、ボーナスグループの再生が始まります。
- 暗証番号を間違えたときは、もう一度、正しい暗証番号を入力します。

静止画を見る[B.S.P.]

DVDオーディオには、静止画が収録されているものがあります。この静止画の中にはB.S.P.(ブラウザブル スチル ピクチャー)と呼ばれるものがあり、お好みでページをめくるように、静止画を切り換えることができます。

お知らせ

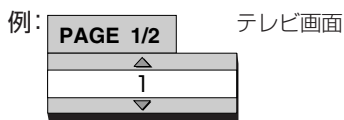
本体の表示窓に、「**B.S.P**」が点灯しているときに操作できます。

1 再生中に (ページ) を押す

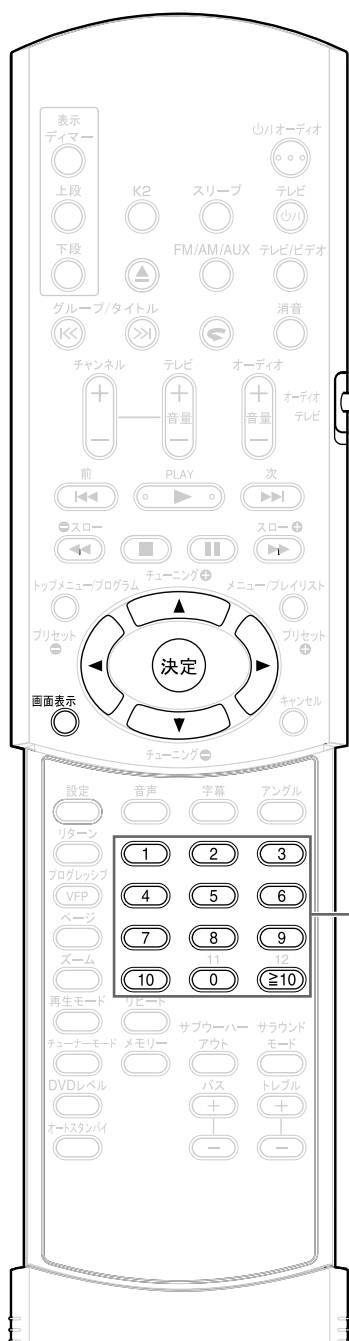
(ページ) を押すごとに、静止画が切り換わります。

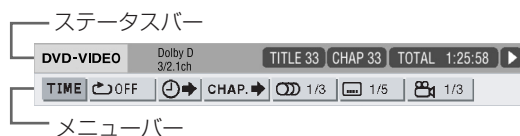
- でも選べます。

例：

テレビ画面

2 そのまま数秒待つか、(決定)を押す

メニューバーで操作する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MPEG1 MPEG2

お知らせ
- 数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。
- ディスクが入っているときに操作できます。なお、停止中には操作できない機能もあります。

1 画面表示 を2回押す

上記はDVDビデオの例です。

2 ◀ ▶ を押して、操作したい項目を選ぶ

3 決定 を押す

- 選んだ機能が設定できるようになります。設定内容については次頁の「機能一覧」をご覧ください。
- メニューバーの文字が点灯しているときは、その機能が働いています。
- メニューバーを消したいときは 画面表示 を押します。

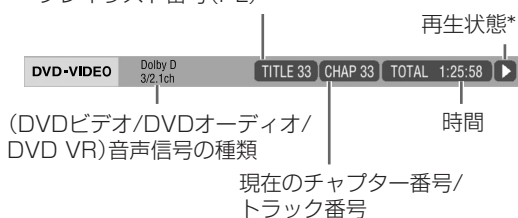
機能一覧

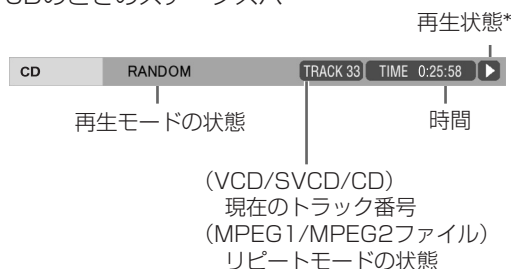
特に操作説明のない機能については、▲ ▼で選択、(決定)で決定します。

TIME 時間表示選択	表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモードの選択。(決定)を押すごとにモードが切り換わる。 **DVDビデオ/DVDオーディオ(再生中の操作)** TOTAL:タイトル/グループの経過時間 T.REM :タイトル/グループの残り時間 TIME :チャプター/トラックの経過時間 REM :チャプター/トラックの残り時間 **DVD VR(再生中の操作)** TOTAL:オリジナルプログラム/プレイリストの経過時間 T.REM :オリジナルプログラム/プレイリストの残り時間 **CD(再生中の操作)/VCD/SVCD** TIME :トラックの経過時間 REM :トラックの残り時間 TOTAL:ディスクの先頭からの経過時間 T.REM :ディスクの残り時間
OFF リピートモード	24, 30ページをご覧ください。 (A-Bリピート再生については、31ページをご覧ください。)
タイムサーチ	27ページをご覧ください。
CHAP. チャプターサーチ/トラックサーチ	**DVDビデオ/DVD VR(チャプターサーチ)/DVDオーディオ(トラックサーチ)** チャプター/トラックを選ぶ。数字ボタンを押してチャプター/トラック番号を入力し、(決定)を押す。 例: 5: (5)　24: (2)➜(4)
1/3 音声言語	**DVDビデオ/DVDオーディオ/DVD VR/VCD/SVCD** 32ページをご覧ください。
1/ 5 字幕言語	**DVDビデオ/DVDオーディオ/DVD VR/SVCD** 32ページをご覧ください。
1/3 アングル	**DVDビデオ/DVDオーディオ** 32ページをご覧ください。
PAGE -/- ページ切り換え	**DVDオーディオ** 35ページをご覧ください。

ステータスバーに表示される情報

DVDビデオ/DVDオーディオ/DVD VR

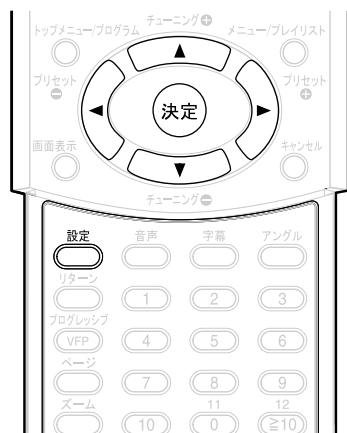
例:DVDビデオのときのステータスバー

VCD/SVCD/CD/MPEG1/MPEG2ファイル

例:CDのときのステータスバー

お知らせ

* 再生状態のマークは、オンスクリーンガイド(☞21ページ)のマークと同じ意味です。

使いこなす

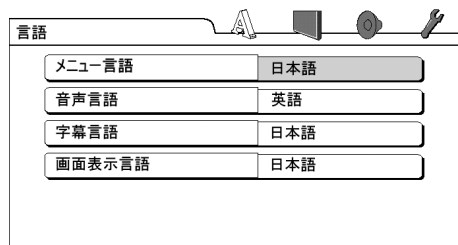
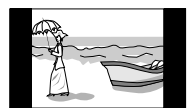
各種設定

DVDビデオ　DVDオーディオ　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

お買い上げ時の本機の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

お知らせ
- 数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。 （オーディオ／テレビ）
- ワイドテレビでは各種設定画面の上下が表示されないことがあります。テレビ側の設定で画像サイズを変更してください。

基本操作

ここでは各種設定を変更する基本操作について説明します。

1 停止中またはディスクが入っていないとき(「NO DISC」表示中)に、設定 を押す

- このあとはテレビ画面の説明にしたがって操作してください。

言語設定画面

お知らせ
- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクの最適な設定の言語で表示されます。
- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」(☞ 51ページ)をご覧ください。

設定項目	設定内容
メニュー言語	**DVDビデオのメニューの言語を選びます。**
音声言語	**DVDビデオの音声の言語を選びます。**
字幕言語	**DVDビデオの字幕の言語を選びます。**
画面表示言語	**設定画面に表示される言語を選びます。**

映像設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
TVタイプ	テレビに適した設定を選びます。 **パンスキャン：** 従来（4：3）のテレビ用。 横長の映像は左右が切り取られます。（ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります。） **レターボックス　：** 従来（4：3）のテレビ用。 横長の映像は上下に黒い帯が表示されます。 **16：9ノーマル：** 16：9の映像専用のワイドテレビ用。 従来（4：3）の映像は左右に黒い帯が表示されます。 **16：9オート：** 映像の縦横比を自動認識するワイドテレビ用。映像の縦横比に応じて表示されます。 従来（4：3）の映像が入力されるとき 16：9の映像が入力されるとき
映像ソース	**映像ソースに適した設定を選びます。** **オート：** 素材のタイプ（ビデオ/フィルム）を自動的に判別します。 **フィルム:** フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 **ビデオ:** ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー	**スクリーンセーバーの オン / オフを選びます。(スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約５分操作がないときに動作します)**

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
ファイルタイプ	1枚のディスクに異なる種類のファイル（オーディオ／静止画／ビデオ）が複数記録されているときに、どの種類のファイルを再生するのかを選びます。 オーディオ： MP3/WMA/WAV ファイルを再生します。 静止画： JPEG ファイルを再生します。 ビデオ： MPEG1/MPEG2 ファイルを再生します。

音声設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
デジタルOUT	デジタル音声出力端子に接続する機器（AVアンプなど）に合わせて出力信号の種類を次から選べます（設定項目と出力信号については下の一覧表をご覧ください）。 PCMのみ: リニアPCMのみに対応している機器。 DOLBY DIGITAL/PCM: ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 ストリーム/PCM： DTS/ドルビーデジタルデコーダーまたはこれらの機能を持つ機器。
ダウンミックス	接続した機器に合わせて、DVDビデオのデジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタルOUT」を「PCMのみ」にしているとき設定します。 ドルビーサラウンド： ドルビープロロジックデコーダ内蔵の機器。 ステレオ: 通常の機器。 • サラウンドモードがオンのときは、ダウンミックスは働きません。
D（ダイナミック）レンジコントロール	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します。（ドルビーデジタルで収録されたDVDのみ） オート： Dレンジコントロールが自動的に働く。 オン: Dレンジコントロールが常に働く。

その他設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
リジューム	オン／オフを選ぶ。(☞25ページ)
オンスクリーンガイド	ディスクや本機の状態を示すマークを表示するオンスクリーンガイドの オン ／オフを選びます（マークについては21ページをご覧ください）。
AVコンピュリンクモード	弊社のテレビやAVアンプと連動させるとき、接続機器の端子に合わせて次から選びます（詳しくは「AVコンピュリンクを使う」(☞44ページ)をご覧ください）。 DVD1: テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続。 DVD2: テレビのビデオ1入力に接続。 DVD3: テレビのビデオ2入力に接続。

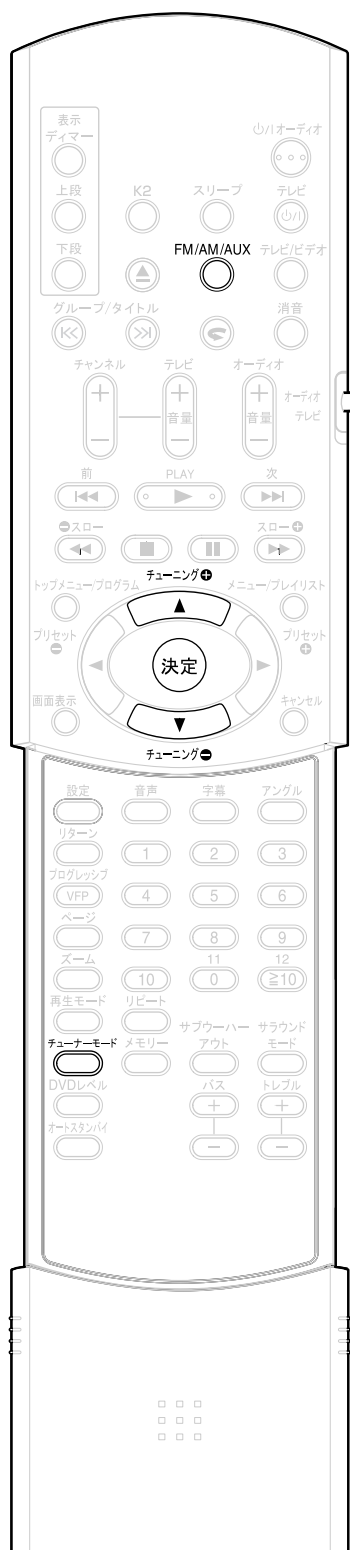
デジタルOUTの設定項目と出力信号の関係一覧

再生ディスク/ファイルの種類	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビット リニアPCMのDVDビデオ 96kHz リニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
48/96/192kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ/DVDオーディオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ・DVDオーディオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
CD/VCD/SVCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/48kHz、16ビットのリニアPCM		
DTSのCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットのリニアPCM	
MP3/WMA/WAVファイル	32/44.1/48kHz、16ビットのリニアPCM		

お知らせ

デジタル音声出力端子について著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

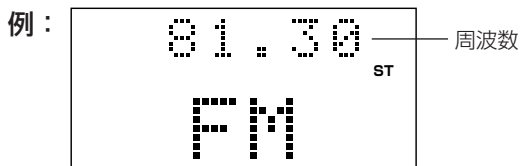
使いこなす

ラジオを聞く

FMまたはAMを受信することができます。

放送局を選ぶ

1 FM/AM/AUX **を押す**

押すごとにFM、AM、AUXが切り換わります。

例：

2 チューニング− **または** チューニング+ **を押して、聞きたい放送局（周波数）を選ぶ**

2つの方法があります。

オート（自動）選局：

チューニング− または チューニング+ を押し続け、周波数の表示が変わり始めたらボタンを離します。
放送を受信すると自動で止まります。

途中で止めたいときは、チューニング− または チューニング+ を押します。

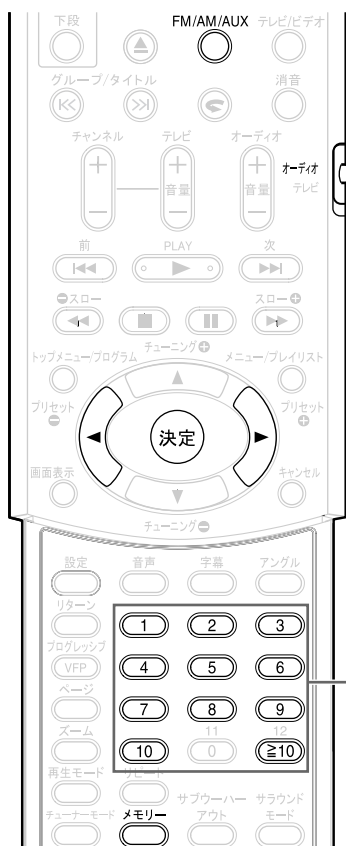
マニュアル（手動）選局：

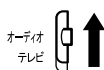
チューニング− または チューニング+ を押すごとに周波数が変わります。

- FMステレオ放送を受信すると、「ST」（STEREO）表示が点灯します。

お知らせ

- 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
- 地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、チューナーモード を押し、音声をモノラルにする（「MONO」が点灯）と、聞きやすくなることがあります。もう一度 チューナーモード を押すか、別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に戻ります。
- AM放送が雑音で聞きにくいときに、チューナーモード を押すと聞きやすくなる場合があります。（このとき「BEAT CUT AM」が数秒間表示されます。）
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

あらかじめ記憶させた放送局を呼び出す

放送局を記憶させておくと、次からは簡単に呼び出すことができます。

お知らせ
数字ボタンを使うときはテレビ/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

放送局を記憶させる [メモリー]

FMを最大30局、AMを最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート(自動)メモリー

FMとAMそれぞれについて操作してください。

1 FM/AM/AUX をくり返し押してFMまたはAMを選ぶ

2 メモリー を2秒以上押して表示窓に「A.PRESET」を表示させる

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のメモリー番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、メモリーの最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートメモリーが終了すると、メモリー番号01に記憶された放送局が自動で受信されます。

マニュアル(手動)メモリー

放送局を1つずつ記憶させます。

1 記憶させたい放送局を選ぶ
(選びかたは☞ 40ページ)

2 メモリー を押す

表示窓に、数字(メモリー番号)が約5秒間点滅します。

3 メモリー番号が点滅している間に、◀ または ▶ を押して記憶させたい番号を選ぶ

- 数字ボタンで選ぶこともできます。
- 「数字ボタンの使い方」(☞21ページ)をご覧ください。

4 選んだ番号が点滅している間に メモリー または 決定 を押す

「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ
同じメモリー番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

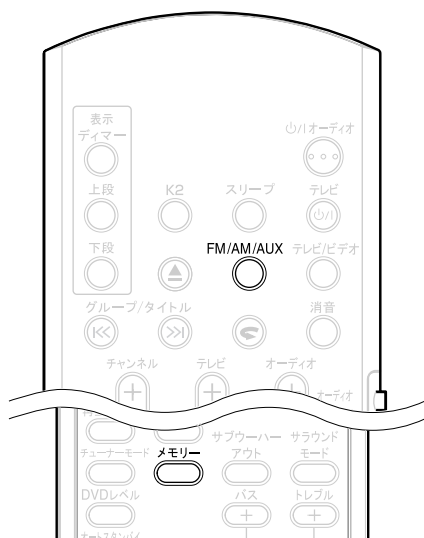
放送局を呼び出す

1 FM/AM/AUX をくり返し押してFMまたはAMを選ぶ

2 数字ボタンで、呼び出したい放送局のメモリー番号を選ぶ

「数字ボタンの使い方」(☞21ページ)をご覧ください。

でも選べます。

他のオーディオ機器の音声を楽しむ

あらかじめ本機と他のオーディオ機器をつないでおいてください。(☞ 14ページ)。

1 FM/AM/AUX **をくり返し押してAUXを選ぶ**

- 押すごとに、下記のように設定が切り換わります。
  -「AUX」は、AUX入力端子に接続している機器がソースとなります。
  -「FM」は、FM放送がソースとして選ばれます。
  -「AM」は、AM放送がソースとして選ばれます。

2 他のオーディオ機器を再生する

詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の音量・音質を調節する(☞22ページ)

オーディオ機器の音声入力レベルを調節する

AUX入力端子に接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。

1 FM/AM/AUX **をくり返し押してAUXを選ぶ**

ソース(音源)がAUXになります。

2 入力レベルが表示されるまで メモリー **を押し続ける**

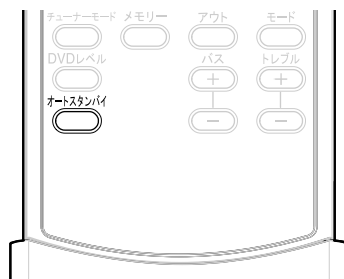
押し続けるごとに次のように切り換わります。

LEVEL1：通常はこちらでお使いください。

LEVEL2：他の機器からの入力レベルが大きすぎて音声がひずんで聞こえるときに、こちらに設定します。

お買い上げ時はLEVEL1に設定されています。

オートスタンバイを設定する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

停止状態で3分間何も操作しないと、自動で電源が「切」になります。
ラジオまたはAUX入力端子に接続したオーディオ機器がソースとして選ばれているときは、この機能は使えません。

1 オートスタンバイ **を押す**

「A.STANDBY」が本体表示窓に点灯します。

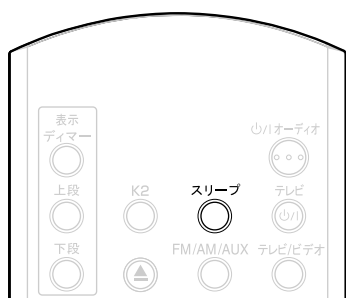
再生などの動作が終了して停止状態になると、「A.STANDBY」が点滅に変わります。
これは「何も操作しない場合は3分後に電源が切れます。」という意味です。
さらに電源が「切」になる20秒前になると、「A.S.」も点滅します。

オートスタンバイを解除する

オートスタンバイ を押します。
「A.STANDBY」が消灯します。

お知らせ

ソース(音源)がディスク以外のときは、オートスタンバイは動作しません。

スリープタイマー（おやすみタイマー）

設定した時間(スリープ時間)が経過すると自動で電源が「切」になります。

スリープ ◯ を押す

押すごとに、本体表示窓に表示された時間(単位:分)が切り換ります。

例:スリープ時間を60分にしたとき

数秒後にスリープ時間が自動で設定され、表示が消えます。

お知らせ

スリープタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。本体表示窓の「SLEEP」は点灯し続けます。

スリープ時間を変更する

スリープ ◯ をくり返し押してスリープ時間を選び直してください。

スリープ時間を確認する

スリープタイマーが設定された状態で、スリープ ◯ を1回押します。

解除する

「OFF」が表示されるまで、スリープ ◯ をくり返し押します。

お知らせ

電源を「切」にしたときも、スリープタイマーは解除されます。

チャイルドロック

本機に入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。

設定する

本機の電源を切り(スタンバイ状態)、本体の ◯ (停止)を押しながら ⏏ (取出し)を押します。
本体表示窓に「LOCKED」と表示されます。

解除する

設定時と同じ操作をしてください。
本体表示窓に「UNLOCKED」と表示されます。

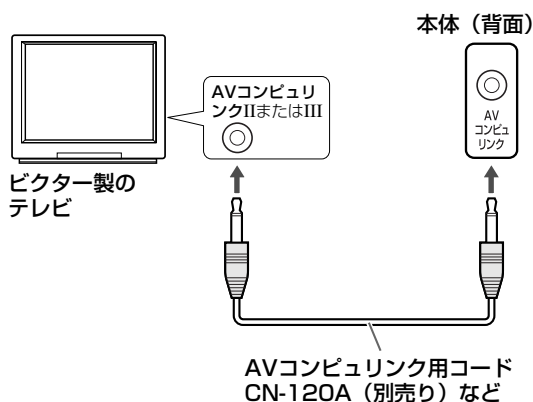
便利は機能

AVコンピュリンクを使う

ビクター製でAVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子を持つテレビを本体に接続すると、一方の機器の操作に連動して他方の機器を動作させることができます。

AVコンピュリンクの接続と設定

お知らせ

- ビクター製のテレビには「AVコンピュリンク」と表記された端子を持つものがあります。この端子は本機の[AVコンピュリンク]端子やAVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子と同じものです。
- 「AVコンピュリンクモード」の設定は、39 ページの「その他設定画面」をご覧ください。
- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
ビデオ1のとき	DVD 2
ビデオ2のとき	DVD 3
ビデオ3のとき	DVD 1

- ビデオ2またはビデオ3端子につないでも、テレビによってはAVコンピュリンクが働かないことがあります。

AVコンピュリンクを操作する

1 テレビの主電源を入れる

2 ディスク/ファイルを再生する

- 17、18ページをご覧ください。
- テレビの電源が入ります。
- テレビの入力がビデオ 1、ビデオ 2 またはビデオ3(DVD)に切り換わります。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- テレビ、アンプまたはチューナーのすぐそば
- けい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 磁場のすぐそば

ご注意
本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意
シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ご参考に

ディスク／ファイルについて

再生できるディスク／ファイル

再生できるディスク*1	DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD VR*2、VCD、SVCD、CD、CD-R*3、CD-RW*3、DVD-R*4 *5、DVD-RW*5、+R、+RW
再生できるファイル(ディスクの場合)*1	MP3、WMA、WAV、JPEG、MPEG1、MPEG2

上記の種類でも再生できないことがあります。
*1 ディスクはすべてファイナライズ処理されている必要があります。
*2 DVD VRはビデオレコーディング(VR)形式で記録されたDVD-RおよびDVD-RWのことです。
*3 マルチセッションで記録されたCD-R/CD-RWは最大20セッションまで再生可能です。
*4 マルチボーダーで記録されたDVD-Rも再生可能です(デュアルレイヤーディスクを除く)。
*5 DVD-R/DVD-RWは、UDFブリッジで記録されたファイルのみ再生可能です。

DVDビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた+R/+RWディスクが再生できます。本体表示窓には「DVD」と表示します。

傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で、ディスクが再生できないことがあります。

次のディスクは音声のみ再生できます。
MIX-MODE CD　　CD-G
CD-EXTRA　　CD TEXT

DVDビデオのリージョン番号
リージョン番号とは国や地域ごとに割り当てられた番号です。本機のリージョン番号は「２」です。「２(２を含む)」または「ALL」と表示されたDVDビデオのディスクに限り再生できます。

例：

リージョン番号が異なるDVDビデオを入れても再生されません。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、VCD、SVCDのなかには、この取扱説明書での説明と異なる操作方法のものもあります。これはディスク/ファイル制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。

CD-R/CD-RWおよびDVD-R/DVD-RWディスクについて

- ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。
- 上記以外のフォーマットで記録したことのあるCD-RW、DVD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

再生できないディスク

- 次のディスクは再生できません。
- DVD-ROM(MP3/WMA/JPEG/MPEG1/MPEG2フォーマットは除く)、DVD-RAM、CD-ROM、CD-I(CD-I Ready)、Photo CD、SACD
- 誤って再生するとスピーカーなどの機器を破損することがあります。
- 破損したディスク、特殊な形状(直径12または8センチの円形以外)のディスクも再生できません。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

再生できるMP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2ディスクおよびファイル

- ISO9660フォーマットで記録されているCD(パケットライト(UDFフォーマット)形式で記録されたCDは不可)。
- 「.mp3」、「.wma」、「.wav」、「.jpg」、「.jpeg」、「.mpg」または「.mpeg」の拡張子がついたファイル(大文字と小文字が混在した拡張子も可)。

MP3/WMA/WAV/JPEGディスク
およびファイルについて

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3/WMA/WAV/JPEGファイルのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、トラック/ファイル名が正しく表示されません。
- MP3/WMA/WAV/JPEGディスクのメニュー画面に表示されるトラック/グループの順序、およびファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダーの順序と異なることがあります。
- 静止画を含んだMP3/WMAファイルは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、正確な経過時間が表示されないことがあります。
- MP3/WMAファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたディスクを推奨します。
- MP3iおよびMP3PROファイルには対応していません。
- 本機ではベースライン方式のJPEGファイルが再生できます。モノクロのJPEGファイルは再生できません。
- 本機ではDCF(Design rule for Camera File System)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータが表示できます(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)。
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGファイルなどの動画やJPEGファイル以外の静止画(TIFFなど)および音声付き画像は再生できません。
- JPEGファイルの解像度は「640ピクセル×480ピクセル」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、「8192ピクセル×7680ピクセル」を超える画像は表示できません。
- WAVファイルは、サンプリング周波数44.1 kHz、量子化ビット数16bitを推奨します。

MPEG1/MPEG2ディスク
およびファイルについて

- ストリーム構造はMPEGシステムストリーム規格またはMPEGプログラムストリーム規格に合致している必要があります。
- 最大解像度は「720ピクセル×576ピクセル」(25fps)および「720ピクセル×480ピクセル」(30fps)をお勧めします。
- 「352×576」「480×576」「352×288」(25fps)および「352×480」「480×480」「352×240」(30fps)の解像度も推奨します。
- プロファイルとレベルは、MP@ML(Main Profile at Main Level)、SP@ML(Simple Profile at Main Level)またはMP@LL(Main Profile at Low Level)である必要があります。
- オーディオストリームは、MPEG1 Audio Layer-2、MPEG2 Audio Layer-2またはドルビーデジタル(MPEG2ファイルのみ)規格に合致している必要があります。

マルチチャンネル音声について

本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の2つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式(PAL等)用のDVD/ビデオCDも、NTSC方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)

- DVDビデオ/DVDオーディオ、VCDおよび、SVCDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

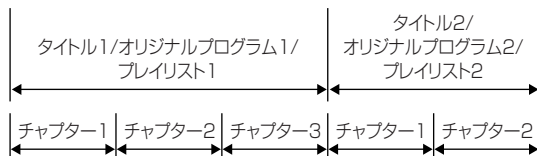
別売りのオプション品

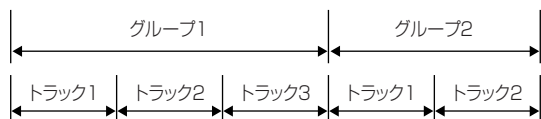
- オーディオコード：CN-510E、CN-D110E
- 光デジタルケーブル：XN-110SA
- S ビデオコード：VC-S110E
- D 端子用ビデオコード：VX-DS110
- AV コンピュリンク用コード：CN-120A
- DVD レンズクリーナー：CL-DVDLW/CL-DVDLA

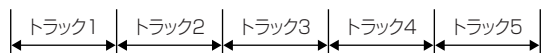
別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

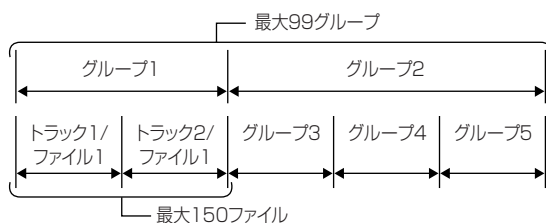
ディスク／ファイルの構成

DVDビデオ/DVD VR

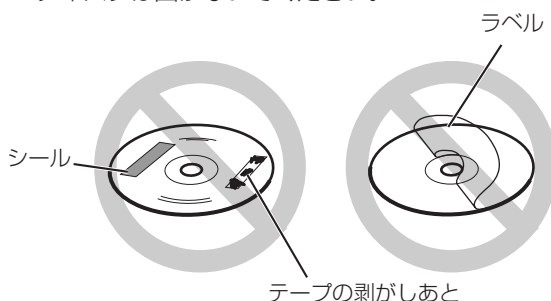
DVDビデオは、「タイトル」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「チャプター」と呼ばれる小さな単位で構成されています。
DVD VRは、「オリジナルプログラム」または「プレイリスト」と呼ばれる大きな単位と、オリジナルプログラム/プレイリストに含まれる「チャプター」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

DVDオーディオ

DVDオーディオは、「グループ」と呼ばれる大きな単位と、グループに含まれる「トラック」と呼ばれる小さな単位で構成されています。
DVDオーディオには、「ボーナスグループ」と呼ばれる特別なグループを収録したものがあり、再生にはパスワードが必要です。（→35 ページ）

VCD/SVCD/CD

VCD/SVCD/CDは、「トラック」と呼ばれる単位で構成されています。
通常それぞれのトラックに番号がついています。
（VCD/SVCD/CDには、トラックが「インデックス」で区切られたものがあります。）

MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2ファイル

MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2ファイルには、音声、静止画、映像がトラックまたはファイルとして記録されています。トラック/ファイルは通常フォルダーにまとめられています。フォルダーはまた別のフォルダーに含むことができ、フォルダー階層を構成します。
本機では記録されたフォルダー階層を「グループ」として管理します。

本機はディスク1枚あたり4000のトラック/ファイルを認識します。また、グループ1つあたり150のトラック/ファイル、ディスク1枚あたり99のグループを認識します。150を超えるファイル/トラックおよび99を超えるグループは認識されず、再生できません。
MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2ファイル以外のファイルがディスクに含まれているときは、これらも総ファイル数に計上されます。

ディスクの取り扱い

- 特殊な形状のディスクを使用しないでください（ハート型、花形、クレジットカード型など）。故障の原因となります。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。

ディスクの掃除

指紋やほこりは、内側から外側へ柔らかい布で拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

故障かな？と思う前に

■総　合

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。	15
各ボタンの操作ができない。	ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	故障ではありません。	—
リモコンが働かない。	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	9
リモコンで本体を操作できない。	リモコンのテレビ／オーディオ切換スイッチが「テレビ」側になっている。	リモコンのテレビ／オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。	10
雑音がする。	テレビ、パソコンなどの電気機器の近くに本体が置かれている。	テレビ、パソコンなどの電気機器から本体を離してください。	45
映像が出ない。	正しく接続されていない。	すべてのコードを正しく接続してください。	15
映像が乱れる。	本体とテレビの間に、ビデオデッキを接続している。	本体とテレビを直接接続してください。	15
	映像信号方式が正しく設定されていない。	テレビに適した設定を選んでください。	16
画面サイズがおかしい。	画面サイズが正しく設定されていない。	テレビに適した設定を選んでください。	38
テレビ画面が暗くなる。	スクリーンセーバーが働いている。	いずれかのボタンを押してください。	—
音声が出ない。	スピーカーコードが正しく接続されていない。	スピーカーコードを正しくを接続してください。	12
	ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを抜いてください。	34
	消音機能が働いている。	消音機能を解除してください。	22
	表示窓に「NO AUDIO」と表示されるときは、不正なディスクである可能性があります。	ディスクをお買い上げになったお店で確認してください。	—
テレビにくらべて音声が小さい。	低いレベルで音声が収録されている。（DVDビデオ／DVDオーディオのみ）	音声レベルを切り換えてください。	34
音がひずむ。	音量を上げすぎている。	音量を下げてください。	22
サブウーハーから音が出ない	サブウーハーが正しく設定されていない。	サブウーハー アウト を押して「SUB WFR ON」にしてください。	13
ラジオ受信中に雑音が入る。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しくを接続してください。	11
ラジオが受信できない。			

■ソースがディスクのとき

症　状	原　因	処　置	参照ページ
再生できない。	テレビ画面に「リージョンコードエラー!」と表示されるときは、ディスクのリージョン番号が本機と対応していません。（DVDビデオのみ）	ディスクのリージョン番号を確認してください。（「2（2を含む）」または「ALL」以外のディスクは再生できません。）	46
	テレビ画面に「このディスクは再生できません」と表示されるときは、本機で再生できるディスクではありません。	本機で再生できるディスクの種類を確認してください。	46
	ディスクを表裏逆に入れてしまっている。	文字のある面を上にしてディスクをディスクトレイに置いてください。	17
	本体内部のレンズに露や水滴が付いている。	電源を入れたまま約1～2時間待ってからご使用ください。	45
音声言語/字幕言語/アングルが切り換えられない。	ディスクに複数の音声言語/字幕言語/アングルが収録されていない。	音声言語/字幕言語/アングルがひとつしか収録されていないディスクでは切り換えはできません。	32
字幕が出ない。	ディスク/ファイルに字幕が収録されていない。	字幕が収録されていないディスク/ファイルでは、字幕は表示できません。	32
	字幕言語が選択されていない。	字幕言語を選択してください。	32
表示窓に「LR ONLY」が表示される。（DVDオーディオのみ）	マルチチャンネル音声で、ダウンミックスが禁止されているトラックを再生しているため、左右の音声がそのまま出力されている。	故障ではありません。	—
一部の箇所が正しく再生されない。	ディスクにキズや汚れがある。	ディスクを掃除するか、ほかのディスクと交換してください。	48
MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2ファイルが再生できない。	ディスクに異なる種類のファイルが複数記録されている（MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2）。	「ファイルタイプ」を選んでください。「ファイルタイプ」で選んだ種類のファイルのみが再生できます。 「ファイルタイプ」を選ぶ前にファイルが読み込まれてしまったときは、「ファイルタイプ」を選び直してからディスクを入れ直してください。	39
ディスクが取り出せない。	チャイルドロックが働いている。	チャイルドロックを解除してください。	43

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。

お願い

本機の故障または不測の事態により、ディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

言語コード一覧

コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	MI	マオリ語
AB	アブハジア語	MK	マケドニア語
AF	アフリカーンス語	ML	マラヤーラム語
AM	アムハラ語	MN	モンゴル語
AR	アラビア語	MO	モルダビア語
AS	アッサム語	MR	マラータ語
AY	アイマラ語	MS	マライ（マレー）語
AZ	アゼルバイジャン語	MT	マルタ語
BA	バシキール語	MY	ミャンマー語
BE	ベラルーシ語	NA	ナウル語
BG	ブルガリア語	NE	ネパール語
BH	ビハーリー語	NL	オランダ語
BI	ビスラマ語	NO	ノルウェー語
BN	ベンガル語、バングラ語	OC	プロバンス語
BO	チベット語	OM	（アフォン）オロモ語
BR	ブルトン語	OR	オリヤー語
CA	カタロニア語	PA	パンジャブ語
CO	コルシカ語	PS	パシュトー語
CY	ウェールズ語	PT	ポルトガル語
DA	デンマーク語	QU	ケチュア語
DZ	ブータン語	RM	ラエティ-ロマン語
EL	ギリシャ語	RN	キルンディ語
EO	エスペラント語	RO	ルーマニア語
ET	エストニア語	RW	キニヤルワンダ語
EU	バスク語	SA	サンスクリット語
FA	ペルシャ語	SD	シンド語
FI	フィンランド語	SG	サンド語
FJ	フィジー語	SH	セルボクロアチア語
FO	フェロー語	SI	シンハラ語
FY	フリジア語	SL	スロベニア語
GA	アイルランド語	SM	サモア語
GD	スコットランドゲール語	SN	ショナ語
GL	ガルシア語	SO	ソマリ語
GN	グアラニ語	SQ	アルバニア語
GU	グジャラード語	SR	セルビア語
HA	ハウサ語	SS	シスワティ語
HI	ヒンディー語	ST	セストゥ語
HR	クロアチア語	SU	スンダ語
HY	アルメニア語	SV	スウェーデン語
IA	国際語	SW	スワヒリ語
IE	国際語	TA	タミール語
IK	イヌピック語	TE	テルグ語
IN	インドネシア語	TG	タジク語
IS	アイスランド語	TH	タイ語
IW	ヘブライ語	TI	ティグリニャ語
JI	イディッシュ語	TK	トゥルクメン語
JW	ジャワ語	TL	タガログ語
KA	グルジア語	TN	セツワナ語
KK	カザフ語	TO	トンガ語
KL	グリーンランド語	TR	トルコ語
KM	カンボジア語	TS	ツォンガ語
KN	カンナダ語	TT	タタール語
KO	韓国（朝鮮）語	TW	トウィ語
KS	カシミール語	UK	ウクライナ語
KU	クルド語	UR	ウルドゥー語
KY	キルギス語	UZ	ウズベク語
LA	ラテン語	VI	ベトナム語
LN	リンガラ語	VO	ヴォラピュク語
LO	ラオス語	WO	ウォロフ語
LT	リトアニア語	XH	コーサ語
LV	ラトビア語、レット語	YO	ヨルバ語
MG	マダガスカル語	ZU	ズール語

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（53 ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

49、50ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

【出張修理専門】のご相談窓口	
出張修理 受付センター	(0800)800-9928（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は(045)453-2960 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西五条南二十八丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	旭川S.T. 北見S.T. 釧路S.T. 函館S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
東北			
青森	青　森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
岩手	盛　岡S.S.	(019)629-3835	盛岡市門一丁目18-1キャピタルハウス1F
	水沢S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
秋田	秋　田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
	大館S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.T. 酒田S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
福島	郡　山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	長　野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
	松本S.T.	お問い合わせは長野S.S.にて承ります。	
群馬	前　橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉 茨城	千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横　浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F
山梨	甲府S.T.	お問い合わせは八王子S.C.にて承ります。	
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969-2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
東海・北陸			
静岡	静　岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
	沼津S.T. 浜松S.T.	お問い合わせは静岡S.S.にて承ります。	
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三　河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室
	名東S.T.	お問い合わせは名古屋S.C.にて承ります。	
石川	金　沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
富山	富山S.T.	お問い合わせは金沢S.S.にて承ります。	
福井	福井S.T.	お問い合わせは金沢S.S.にて承ります。	
近畿			
京都 滋賀	京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪	大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
	堺S.T.	お問い合わせは大阪S.C.にて承ります。	
兵庫	神　戸S.T.	お問い合わせは大阪S.C.にて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口			
	近畿エンジニアリングセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国			
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
山口	山口S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
島根	松　江S.S.	(0852)31-8900	松江市学園一丁目16-39
鳥取	鳥取S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
四国			
香川 高知	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛媛	松山S.T. 宇和島S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
熊本	熊　本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　(1109)

※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト（出張修理拠点）の略称です。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター		
(0120)2828-17（フリーダイヤル）		
携帯電話、PHSなどからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
(045)450-8950	〒221-8528	横浜市神奈川区守屋町3丁目12

索引

主な仕様

一般

電源：AC 100V（50Hz/60Hz）
消費電力：電源入時 35W/切（待機）時 0.7W
質量：3.1kg
外形寸法：（幅）232mm×（高さ）100mm×（奥行）269mm

DVDプレーヤー

再生可能ディスク：DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD VR、VCD、SVCD、CD、CD-R/RW（CD、VCD、MP3、WMA、WAV、JPEG、MPEG1、MPEG2フォーマット）、DVD-R/RW（ビデオフォーマット）

ビデオ出力

映像出力×1：1.0V（p-p）/75Ω、同期負
S1/S2映像出力×1：Y出力…1.0V（p-p）/75Ω、同期負
C出力…0.286V（p-p）/75Ω
D2映像出力×1：Y出力…1.0V（p-p）/75Ω
P_B/P_R出力…0.7V（p-p）/75Ω
映像信号方式：JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

オーディオ出力

アナログ音声出力：
スピーカー×1系統
実用最大出力：30W+30W（JEITA/4Ω）
適合インピーダンス 4Ω〜16Ω
ヘッドホン×1：11mW/32Ω
適合インピーダンス 16Ω〜1kΩ
サブウーハー×1：500mVrms/10kΩ
デジタル音声出力（光角形ジャック×1）：
光…−21dBm〜−15dBm

その他出力

AVコンピュリンク×1（φ3.5）

オーディオ入力

音声入力（AUX）AUX×1系統：
Level 1…250mV/50kΩ
Level 2…500mV/50kΩ

チューナー

FMチューナー：
受信周波数…76.00MHz〜108.00MHz
アンテナ…75Ω不平衡型
AMチューナー：
受信周波数…531kHz〜1629kHz
アンテナ…アンテナ外部端子（ループアンテナ）

スピーカー

種類	：1ウェイ　バスレフ型 防磁形（JEITA）
使用スピーカー	：8.5cm ウッドコーンスピーカー
定格入力（JIS）	：7.5W
最大入力（JIS）	：30W
定格インピーダンス	：4Ω
出力音圧レベル	：81dB/W·m
寸法	：横幅　120mm ：高さ　161mm ：奥行　239mm
質量	：1.7kg（1本）（EX-AK1） 2.0kg（1本）（EX-BK1）

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

EX-AK1/EX-BK1　コンパクトコンポーネントシステム　取扱説明書

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
53 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045)450-8950 FAX　(045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**52** ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1209SKMMODJMM